



第2号

# IDF 酪農乳業における 女性に関する報告書

グローバルな影響力のエンパワーメント

# 目次

「酪農乳業における女性に関する IDF 特別作業部会」 共同委員長からのメッセージ.....	4	アジャープラ酪農協同組合を通じて女性の生計手段を 多様化する.....	22
バングラデシュの女性酪農起業家たちが逆境に立ち向 かう.....	7	国際規格によるジェンダー平等の推進.....	25
「正義の人 (Justiceiras)」プロジェクト：暴力を被 った脆弱な状況にある女性たちを牛乳パックを使って 支援する.....	10	インドの女性酪農家のエンパワーメント.....	27
国連世界食料安全保障委員会 (UNCFS) は、「食料安 全保障と栄養の観点におけるジェンダー平等および女 性・女兒のエンパワーメントに関する自主的ガイドラ イン」を承認しています.....	12	有機酪農協同組合のシュンドルボンモデルによる女性 酪農家のエンパワーメント.....	29
行動する女性たち：テクノロジー、コラボレーショ ン・・・そして友情！.....	13	ミルクと共に歩む、昨日、今日、明日の女性たち.....	32
女性を機能的栄養食品でエンパワーメント：「女性の 力」で乳製品を奨励.....	15	ケニアの非公式な酪農乳業セクターでジェンダー平等 を達成する.....	34
アルバン・バラドナ (Alban Baladna)：女性酪農家 のエンパワーメントを高め、エジプトの食料安全保障 と農村部の生計を向上させる.....	18	Weezesha イニシアチブ：酪農経営を通じた女性と若 者のエンパワーメント.....	37
		ケニアで、女性のエンパワーメントを目指し、生きた 動物および牛乳のバリューチェーンにおけるジェンダ ーギャップを明らかにする.....	39
		障壁（バリア）を打ち破る.....	42
		「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」とその 実施を通して、女性のための機会を広げる.....	45

## この出版物について

国際酪農連盟 (IDF) は「酪農乳業における女性に関する報告書」において、酪農乳業セクターで働く女性のエンパワーメント（地位向上）のため、世界中の取り組みを調査しています。本出版物では、女性たちが支援を受けながらどのように活躍し、変革をもたらす食料システムの課題に取り組んでいるかについて知見を提供しています。中でも、国連の持続可能な開発目標 SDG5「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワーメントを図る」につながるさまざまなイニシアチブや研究に注目しています。この報告書は、農場経営や処理・加工から研究、教育、政策、ガバナンスに至るまで、酪農乳業バリューチェーン全体にわたる幅広い活動をカバーしており、世界的なジェンダー平等の推進と持続可能な開発の促進に対する酪農乳業セクターのコミットメントを示しています。

## 引用表記

International Dairy Federation.(2024).IDF Women in Dairy Report - Empowering global impact (Issue N°2).

## 複製表記

© 国際酪農連盟 (AISBL) 2024 年 10 月。この出版物のすべてまたは一部の著作権は、IDF に帰属します。この文書内で明示的に許可された場所と範囲以外は、IDF の書面による許可無しで、または既存のライセンスのルールに沿わずに、この著作のいかなる部分も複製することや、図表的、電子的、または機械的な、複写、録画、テープ録音またはウェブ配信などのいずれの形態や手段によっても使用できません。

表紙写真提供者：Abbot Nutrition, Mengniu Group, E. Habanabakize, McGill University

翻訳（仮訳）：一般社団法人 J ミルク

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。

参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。



# はじめに

国際酪農連盟（IDF）は、酪農乳業セクターで働く女性の重要な貢献について、認識を高めることに力を注いでいます。私たちの目標は、女性のエンパワーメントが国連の持続可能な開発目標（SDGs）、特にジェンダー平等の達成と、すべての女性・女児のエンパワーメントを目指す SDG5 の達成に不可欠であることを強調することです。

私たちは「酪農乳業における女性に関する IDF 特別作業部会」を通じ、業界全体でジェンダー平等の推進と、女性の役割の強化に取り組んでいます。IDF の取り組みは、酪農経営、乳業、科学、政策、ガバナンスなど、さまざまな領域においてその意義についての認識を高めることを目的としています。こうしたミッションに対して、IDF 酪農乳業女性情報ハブ（IDF Women in Dairy Knowledge Hub）などのリソースは、女性たちの成果を示し、さまざまな状況におけるインスピレーションとロールモデルを提供する上で欠かせません。これらの取り組みは、女性の仕事の存在感を高めるとともに、酪農乳業セクター内で女性が極めて重要な役割を果たしていることについて、より理解を深め、支援を獲得することを目指しています。

これらの取り組みの一環として、IDF の「酪農乳業における女性に関する報告書」第2号は、世界の酪農乳業セクターにおける女性の変革者としての役割を称え、このセクターがどのように女性たちの多面的なエンパワーメントに貢献しているかを強調しています。栄養の改善や生計の向上から、家族の収入の増加、教育の機会の拡充に至るまで、酪農乳業セクターは女性の地位向上とジェンダー平等の促進において重要な役割を果たしています。

本号では、全大陸にわたる 16 の事例紹介を特集しており、その中にはグローバルな広がりを持つ2つの事例が含まれています。これらの事例紹介は、地域のコミュニティから国際的なプラットフォームに至るまで、酪農乳業の発展を促進する多様な方法を示しています。酪農乳業で働く女性は、同セクターの成長に大きく貢献するだけでなく、地域の福祉と持続可能性の向上にも寄与しています。

前を見据えた私たちのビジョンは、SDG5 を引き続き推進するうえで、酪農乳業分野の女性に対する IDF のエンゲージメントを深め、女性のエンパワーメントと食料システムの変革との関係性を示し、引き続き世界中の女性に自身と意欲を与えることです。

こうした活動に賛同し、貢献しているすべての皆さんに心からの感謝を捧げます。皆さんの献身によって、女性や女児が酪農乳業セクターの内外で今後も必ず活躍することでしょう。



ローレンス・ライケン（Laurence Rycken）

IDF 事務総長

# 「酪農乳業における女性に関する IDF 特別作業部会」共同委員長からのメッセージ

幸運なことに、私は個人的および職業的な生活の両面で、ポジティブな変化を求めて努力する人々に恵まれてきました。その行動がどれほど大きな影響を与えるかについて必ずしも分からなくても、自分たちが正しいと信じることをただ行っている人々です。

確実に変化を起こすには、偶然に頼ることはできません。時にはグローバルな市民として、問題を前向きな運動に変え、変化のための勢いを生み出すため、問題を明らかにし、その大小にかかわらず、集団で対策を講じる決断をしなければなりません。

「酪農乳業における女性に関する IDF 特別作業部会」は2022年に設立されて以来、酪農乳業バリューチェーンにおける女性の役割を理解したいという強い願望を持つ世界中の多様な女性と男性が一堂に集まって、世界の酪農乳業においてSDG5の達成に役立つさまざまな取り組みを特定し、IDFが知識とインスピレーションの源となるよう手助けをしています。

かの有名なマリアン・ライト・エデルマンは、「見えないものにはなれない (You can't be, what you can't see)」と言っています。私たちが知っていることを互いに共有し、大きな成功も小さな成功も祝うこと、そして今後やるべき仕事を明確にすることが私たちの責任だと信じています。



変化が避けられない世界で、進歩が時には目に見えないこともあります。私たちが行うすべてのことにおいて、前向きな改善を追求し続けることが重要です。それは時には単なる笑顔や励ましの言葉であり、またある時にはもっと仕事を深める必要があります。IDFの「酪農乳業における女性に関する報告書」は、「酪農乳業における女性に関する IDF 特別作業部会」の中心的な取り組みと合わせ、酪農乳業の業界全体で行われている素晴らしい仕事の真価を認める、この2つを組み合わせたものです。この目的は、SDG5（ジェンダー平等とすべての女性と女児のエンパワーメント）を達成するため、世界の酪農乳業産業の支援方法をよりよく理解することです。私の人生とキャリアの経験から言えることは、酪農乳業産業が、



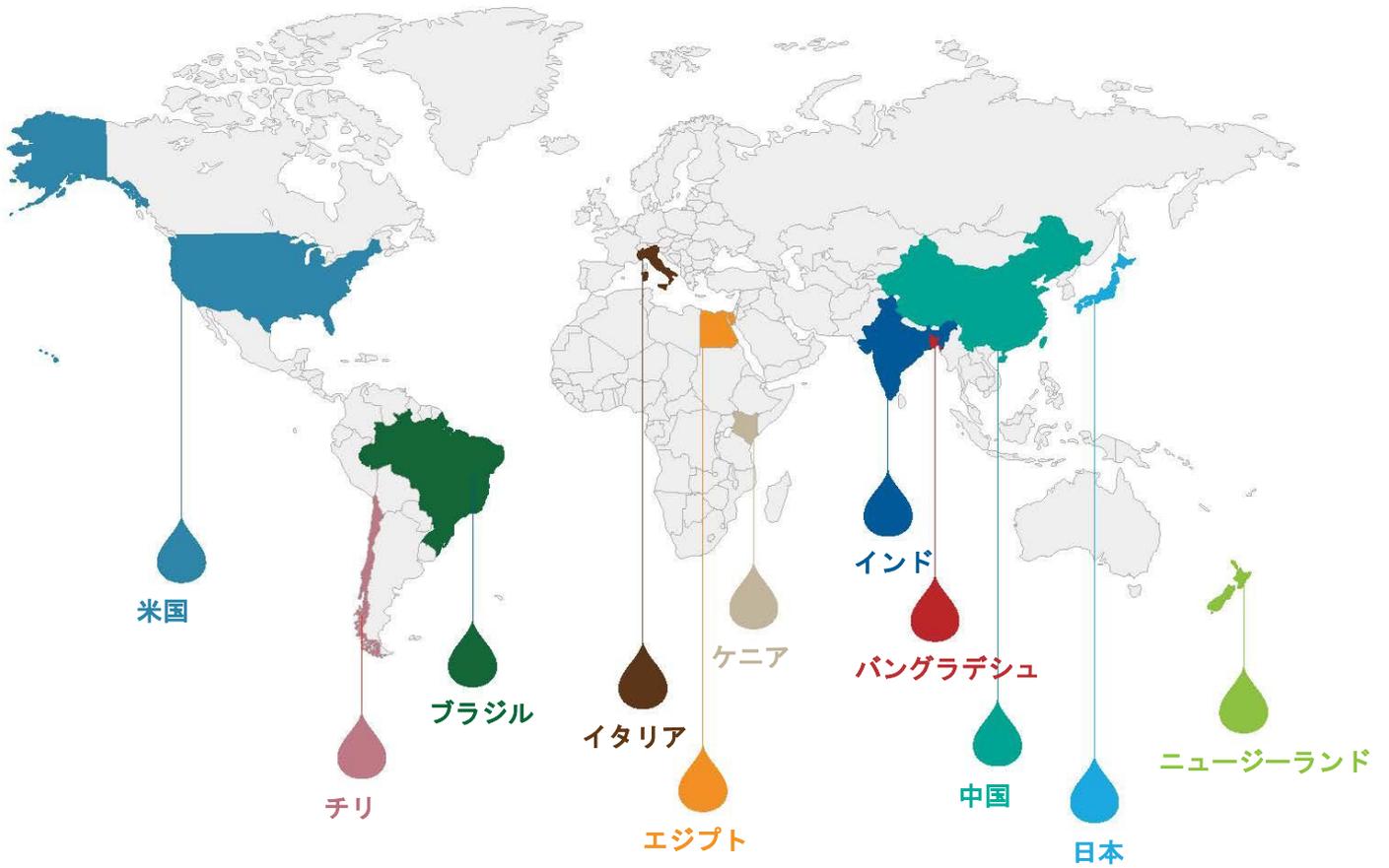
この報告書のような出版物は、酪農乳業で働く世界中の女性の支援に焦点を当てた取り組みを紹介しており、極めて重要です。この報告書でご自身の物語を共有してくださったすべての方々から心から感謝申し上げます。そして、未来に向けてさらなる前進を期待しております。

**ジュディス・ブライアンス博士 (Dr. Judith Bryans)**  
 デーリーUK 最高責任者 (Chief Executive, Dairy UK)

栄養と健康、社会経済状況、土地所有権や銀行口座へのアクセスといった基本的人権、キャリア開発において、さらにはジェンダー平等に向けた重要な進展を促進する可能性のあるリーダーシップやガバナンスの地位において、すべての人々、特に女性にとって向上を推進する手段となり得ることで、SDG5は、私が個人的にも職業的にもコミットしているグローバルな目標であり、私の生涯を通してこれを諦めることは決してありません。

自分の時間、エネルギー、経験を提供し、世界の酪農乳業の産業界と知見を共有してくれた多くの人々に深く感謝いたします。「酪農乳業における女性に関する IDF 特別作業部会」はまだ始まったばかりです。今後もすべての女性と女児にエンパワーメントをもたらす未来に向かい、多くの論点を中心に据えながら、雪だるま式に進展していくことを望んでいます。

**リンダ・マクドナルド (Ms Lynda McDonald)**  
 Tetra Pak 社酪農開発プロジェクトマネージャー (Project Manager Dairy Development, Tetra Pak)



グローバル

CFS（世界食料安全保障委員会） - ジェンダー平等および女性・女児のエンパワーメントに関するガイドライン

ISO（国際標準化機構） - 国際規格によるジェンダー平等の推進

- バングラデシュの女性酪農起業家たちが逆境に立ち向かう
- 「正義の人（Justiceiras）」プロジェクト
- 行動する女性たち：テクノロジー、コラボレーション・・・そして友情！
- 女性を機能性栄養食品でエンパワーメント：「女性の力」で乳製品を奨励
- アルバン・バラドナ（Alban Baladna）
- アジャーブラ酪農協同組合を通じて女性の生計手段を多様化する
- インドの女性酪農家のエンパワーメント
- 有機酪農協同組合のシュンドルボンモデルによる女性酪農家のエンパワーメント
- ミルクと共に歩む、昨日、今日、明日の女性たち
- ケニアの酪農乳業セクターでジェンダー平等を達成する
- Weezesha イニシアチブ：酪農経営を通じた女性と若者のエンパワーメント
- 女性のエンパワーメントを目指し、生きた動物および牛乳のバリューチェーンにおけるジェンダーギャップを明らかにする
- 障壁（バリア）を打ち破る



「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」とその実施を通して、女性のための機会を広げる



バングラデシュ

# バングラデシュの女性酪農起業家たちが逆境に立ち向かう

## 寄稿者

イレーネ・クイスト・モーテンセン (Irene Quist Mortensen) A・K・M・シハブ・ウザマン (Shihab Uzzaman) Bopinc、  
アール・フーズ社 (Arla Foods)、デンマーク

✉ [irqmo@arlafoods.com](mailto:irqmo@arlafoods.com)

バングラデシュ

✉ [uzzaman@bopinc.org](mailto:uzzaman@bopinc.org)

## プロジェクトはどのようにSDG5の達成を支援しているか

このプロジェクトは、プシュティ・アンバサダー・パートナーシップを介し、バングラデシュの女性起業家に収入を生み出す機会を提供することによって、SDG5の目標に直接取り組んでいます。プロジェクトは、トレーニング、サポート、市場へのアクセスを提供することで、女性の経済的エンパワーメントを妨げる市場アクセスの欠如、限られた資金、ジェンダーによる差別といった障壁を克服するのを助けます。

このプロジェクトは、女性主導のビジネスに市場と企業のバリューチェーンへのアクセスを提供します。加えて、プロジェクトは能力開発とスキル構築プログラムを提供することにより、女性起業家がビジネスで成功するために必要な知識とスキルを習得する必要性に対処しています。

さらに、このプロジェクトは女性のエンパワーメントを促進するため、支援技術の利用強化に重点を置くことによって、SDG5の目標に間接的に貢献しています。デジタルトレーニングツールの提供とプロジェクトの運営における技術の活用を通じて、女性起業家はビジネススキルの向上と、より広い顧客基盤へのアクセスに必要なツールとリソースを備えます。

要約すると、このプロジェクトは、女性の経済的エンパワーメントを促進し、起業機会への平等なアクセスを提供し、意思決定の役割に女性の参加を促進することによって、SDG5の達成を支援します。



© Bopinc Bangladesh

## 全体像

バングラデシュは、過去10年間で貧困削減、識字率の向上、ジェンダーの格差縮小において、大きな進展を遂げました。しかし、貧困線以下で生活している約2200万人の人々や、収入機会の創出の減速など、課題は残っています。国立統計局のデータによると、バングラデシュの労働力参加の可能性は、女性（約43%）が男性（約81%）よりも低くなっています。さらに、賃金格差は依然として問題であり、男性は女性よりも平均して35.8%多く稼いでいます。

「プシュティ・アンバサダー・パートナーシップ—バングラデシュの女性起業家のための雇用創出」プロジェクトは、アール社の手頃な価格の栄養乳製品、Dano Daily Pushtiの販売を通じて、女性起業家の収入機会へのアクセスを向上させることを目的としています。プシュティ (Pushti) は栄養を意味します。女性起業

家はバングラデシュ南西部の農村市場に住んでいるため、このプロジェクトは低所得の家族に対するアール社の手頃な価格の栄養乳製品へのアクセスを改善し、インフラの不備や製品認知度の低さといった課題に対処しています。

このプロジェクトは目標を達成するため、アール・フーズ社とオランダのNGO、Bopinc間の革新的な分野横断パートナーシップの下で運営されました。

## 前提

「プシュティ・アンバサダー・パートナーシップ」は、アール社の手頃な価格の栄養乳製品の販売を増やし、マイクロ起業家の収入を向上させ、農村マーケティングと流通に重点を置き、人材募集と研修を支援することで、バングラデシュの農村地域における女性の経済的エンパワーメントおよび栄養改善を目指しています。



### 行動に移す

プロジェクトは、プロジェクト完了後の持続可能な流通を確保するため、アール社のネクストマイル流通区間に隣接しており、高需要ではあるものの製品の入手可能性が限られている場所を戦略的に特定しました。その結果、流通ネットワークと途切れのない製品供給が計画され、スムーズな運営が確保されました。200人のプシュティ・アンバサダーが、起業家精神と能力を含む具体的な基準に基づいて採用されました。トレーニングの内容と計画を起業家向けに合わせるため、ニーズ評価演習が行われました。このプログラムでは、デジタルトレーニングツールと販売管理プログラムを提供し、併せて、誤用のリスクがないよう、販売可能な製品を初期資本として提供しました。その結果、女性起業家は、機会が限られた地域で、アール社が製造した手頃な価格の粉ミルク、Dano Daily Pushti (DDP) を小さな店で販売することによって収入を得ることができました。今、これらのダイナミックな起業家たちはアール社の農村流通ネットワークの一部となり、自分たちと家族の生計を改善し続けています。

### 成功の歴史

プロジェクトの結果は大きな自信となり、事実として現れた成果と社会経済的影響の両面で次のようなプラスの効果を生み出しました。

- 200の小売業者の99%がDDPを積極的に販売しており、プシュティ・アンバサダー（PA）の100%が自分の資金で製品を購入しています。
- これにより、プシュティ・アンバサダーの収入が33%増加し、さらなる拡大の可能性を示しています。
- アール・フーズ社は、下請けの販売代理店ネットワークを通じて200人の女性小売業者に供給しています。
- アール・フーズ社は、ジェンダー・インクルーシブ・ネットワークを拡大し続けています。
- 女性起業家意識向上キャンペーンによって、事業を営んだり、仕事に就いたり、経済活動に参加したりする意欲のある4,000人以上の女性を見つけることができました。

目に見えない成果もいくつかあります。女性たちは「プシュティ・アパ」（直訳すると、「栄養姉妹」）という名前に触発され、地域のコミュニティで栄養に関

する知識を広める役割を一層積極的に果たしています。コミュニティ内で女性たちへの尊敬が高まるにつれ、他の会社の営業担当者の訪問も受けようになっています。

### 取り組みの価値

農村部のバングラデシュの現状は、偶発的な事情がない限り、いまだに女性は稼ぎ手ではなく家庭の管理者として見られています。

シャーミン・カピールの場合は、夫が2007年に交通事故で身体麻痺に陥り、それが自分でビジネスを始めるきっかけとなりました。当初は社会的に課題があったにもかかわらず、彼女は現在、コミュニティ内で尊敬される地位を占めており、これはほとんどすべてのアンバサダーに当てはまります。コミュニティ内での尊敬は、アンバサダーの女性たちが地域社会にもたらすことができた有用性と利便さから生まれたものです。

インタビューでは、女性たちが新製品、資本再投資、一貫した製品供給、およびコスト削減による成長など、ポジティブなビジネスの変化を経験したことが明らかになりました。



ブラジル

# 「正義の人（Justiceiras）」プロジェクト：暴力を被った脆弱な状況にある女性たちを牛乳パックを使って支援する

寄稿者

ゲリエルメ・ポルテラ（Guilherme Portella）ラクタリス・ブラジル（Lactalis Brasil）、ブラジル

✉ [guilherme.portella@br.lactalis.com](mailto:guilherme.portella@br.lactalis.com)

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

ラクタリス・ブラジルが主導するこのプロジェクトは、暴力の被害者である女兒や女性を支援、指導、援助することに特化した初のオンライン多分野報告チャネルの創設により、SDG5.2の達成に貢献しています。24時間年中無休で運営されているこのプラットフォームは、24時間体制の受付とサポートサービスを提供しており、必要な状況にある人々にとって不可欠な支援リソースとなっています。プラットフォームは時がたつにつれて、国内および国際的なネットワークに進化し、あらゆる形態の暴力の被害者に包括的な支援を提供しています。私たちはこの取り組みを通じ、公的および私的な領域における女性と女兒に対する暴力の排除に積極的に取り組んでいます。

## 全体像

ブラジルは女性に対する暴力の深刻な危機に直面しており、女性殺害率が世界で5番目に高い国となっています。驚くべきことに、身体的暴力が7秒ごとに発生しています。この問題は新型コロナウイルスのパンデミックによって悪化し、家庭内暴力は増加し、効果的支援体制が喫緊の課題となりました。この高まる危機的状況に呼応し、「正義の人（Justiceiras）」と呼ばれるプロジェクトは、被害者の支援とガイダンスに不可欠なチャネルを提供し、生存する被害者と必要なリソースをつなぐことを目指しています。このプロジェクトは、家庭内暴力に対する意識を高め、実践的な支援と法的サポートを提供し、虐待に対しては断固とした措置を取るというゼロトレランス文化を育む上で不可欠な役割を果たしています。これらのニーズに対処することによって、「正義の人」プロジェクトは、被害

者を即時に支援するだけでなく、ブラジル全体の女性に対する長期的な社会の変化と保護の向上にも貢献しています。

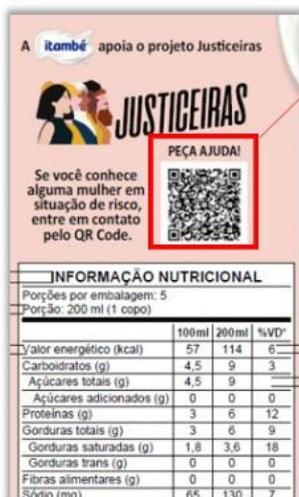
## 前提

「正義の人」プロジェクトの目的は、家庭内暴力を経験している女性に不可欠な援助とリソースを提供することによって、被害者を支援することです。すべてがボランティアによって運営されているこのイニシアチブは全国に拡大し、ラクタリスの UHT 牛乳の紙パックを活用して支援チャネルを宣伝し、ブラジル全土の脆弱な環境にある被害者に効果的に届けています。

## 行動に移す

「正義の人」プロジェクトは、女性に対する暴力の急増に対応するためパンデミック中に始まり、現在も継続している取り組みで、被害者に必須の支援を提供することを目的としています。

限定された Lactails ヘルプ・リクエスト・フォームにアクセスするための QR コードは、すべての Lactalis の UHT 牛乳パックに表示され、利用可能です。



ラクタリスの UHT 牛乳パック上の QR コード © Lactalis Brasil

## 「ブラジルは女性に対する暴力が世界で最も多い国の一つであり、女性殺害率が世界で5番目に高い国です。そして、7秒ごとに1人の女性が身体的暴力を受けています」

ギリエルメ・ポルテラ (Guilherme Portella)

パルマラット、エレジェ、バタヴィア、イタンベとの協力により、このプロジェクトは統一された報告チャネルを導入しました。各人は、パルマラット、エレジェ、バタヴィア、イタンベのブランドの約2億本のUHT牛乳パックに印刷されたQRコードを用いて、包括的なサポートネットワークにアクセスできます。

このプロジェクトには、ブラジル全土および世界の27カ国超で1万3,000人以上のボランティアのグループが参加しています。このネットワークには、司法、健康、心理学、社会支援、および受け入れの専門家も参加し、生存する被害者を支援するための学際的なアプローチを提供しています。この革新的な戦略によって、脆弱な状況にある女性たちが即座に連携支援を受けることができるようになり、女性の安全と支援体制が全国規模で強化されます。

開始日には、全工場でオンラインイベントが開催され、700人以上の従業員が参加しました。このイベントは「正義の人」プロジェクトを紹介するだけでなく、その重要性と妥当性を強調する役割も果たしました。また、従業員がさまざまな種類の暴力を認識し理解するための教育と訓練を受ける貴重な機会となりました。これらの重要な問題を明確にすることで、イベントは参加者のエンパワーメントを高め、このイニシアチブをより良く支え、女性に対する暴力撲滅というプロジェクトの使命に貢献しています。

### 成功の歴史

「正義の人」プロジェクトは、開始以来目覚ましい成果を挙げており、ブラジルのすべての州に広がり、さらには海外のブラジル人女性に対する支援にまで拡大しています。このイニシアチブはこれまで279件の暴力の報告を受けており、そのうち111件が非常に深刻なケースとして分類されています。特に、これらの訴えのうち102件は、初めて虐待を報告した女性によるものであり、信頼と信用を築く中で行われているプロジェクトの成功を反映しています。直近の報告書では、被害者女性の大多数が41歳から50歳の間に暴力を受けており、無職であることも示されました。

この全国的な取り組みは、生存する被害者が助けを求めするのに必要な支援を提供し、安全な環境を育むうえで、このようなプロジェクトは有効であることを示しており、女性に対する暴力に対処し軽減するうえで重要な効果があります。

### 取り組みの価値

「正義の人」プロジェクトは、ブラジル国内外で暴力や脆弱な状況下にあるすべての女兒と女性に対して、司法制度と保護ネットワークへのアクセスを容易にすることを目的に立案されました。

私たちは、UHT牛乳箱という基本的な食品が、暴力の状況下にある女性を助け、問題に対する集団的な意識を生み出す手段となり得たとき、プロジェクトが非常に重要であることを学びました。

### 新たな機会

プロジェクトの未来と機会は、ブラジル国内外で暴力や脆弱な状況下にあるすべての女兒と女性に対するアクセスをますます促進し、問題意識をより広く高めることです。

### 詳細情報

[Latest victims report 1 March 2023 – 2 May 2024](#)

# 国連世界食料安全保障委員会（UNCFS）は、「食料安全保障と栄養の観点におけるジェンダー平等および女性・女児のエンパワーメントに関する自主的ガイドライン」を承認しています

投稿 ジャニス・ギデンズ（Janice Giddens）、米国乳製品輸出協会（U.S. Dairy Export Council）

女性たちは、3,700万の酪農場を率い、8,000万人の女性が酪農経営に従事することで、世界の酪農乳業セクターの強さと強靭性に大きく貢献しています[1]。世界の食料供給のほぼ半分は女性によって生産されています[2]。それにもかかわらず、農業・食料システムにおけるジェンダー平等の達成には大きなギャップが残っています。世界中の女性には、それがあれば農業生産性と生計を大幅に向上させることができる土地、家畜、資材、技術、資金への十分なアクセスが不足しています。農業・食料システムにおけるすべての小売業者のうち約53%は女性ですが、女性は男性よりも利益の少ない商品を取引しています。平均すると、農業で賃労働に従事する女性は男性の1ドルの稼ぎに対して82セントを稼ぎ、女性は男性と比べて食料不安を経験する可能性が高くなっています。他の多くのギャップとともに、これらのギャップを埋めることは、食料安全保障、栄養を大幅に改善し、経済成長を促進するでしょう[3]。

女性と女児が生産資源、資産、教育、金融サービスへのアクセスと管理において不均衡な障壁（バリア）に直面し続けていることを認識し、これは主にジェンダーによる差別と不平等から生じ、食料安全保障と栄養状態を悪化させているため、国連世界食料安全保障委員会（UNCFS）は、「食料安全保障と栄養の観点におけるジェンダー平等および女性・女児のエンパワーメント（GEWGE）に関する自主的ガイドライン」の策定作業に着手することを決定しました。

ガイドライン策定の目的は次のとおりです。

- ・ 加盟国、開発パートナー、およびその他のステークホルダーが、飢餓、食料不安、すべての形態の栄養失調を根絶するための取り組みの一環として、ジェンダー平等、女性と女児の権利、エンパワーメントおよびリーダーシップの推進を支援する。
- ・ ジェンダー・メインストリーミング（主流化）、ジェンダーに対応した公共政策、プログラム、および革新的な解決策に関するグッドプラクティスと学んだ教訓に基づいて、具体的な政策指針を提供する。
- ・ GEWGE と食料安全保障および栄養に関する議題の間で、政策の一貫性をさらに助長し、相互に強化する政策措置を推進する。
- ・ 農業従事者や女性の組織を含む、あらゆるレベルのすべてのステークホルダーが、食料安全保障を達成し、女性と女児の栄養状態を改善するための行動の加速に貢献する。

米国乳製品輸出協会の持続可能な栄養担当の責任者で、IDFの活動的な専門家でもあるジャニス・ギデンズは、CFS民間セクターメカニズムのメンバーとして、ガイドラインを策定するためのオンラインおよび対面での交渉に参加しました。彼女は、

生産性の向上や生計の改善を支援する国際市場、ツールやリソースへのアクセスの改善を目的としたガイドラインを提唱しました。女性は一家の食料購入の大部分を決定するため、彼女たちの暮らしや収入を向上させることで、自分自身や家族のために乳製品のような栄養価の高い食品の購入力を高めることができます。米国の乳製品会社が積極的に始め、支援している女性のエンパワーメントとジェンダー平等を促進するための称賛すべき取り組みがCFSの委員会と共有されました。

委員会は数年にわたる困難な審議の末、2023年10月開催のCFS51で、「食料安全保障と栄養の観点におけるジェンダー平等および女性・女児のエンパワーメントに関する自主的ガイドライン」を承認しました。ギデンズは承認のために出席したCFS51のプライベートセクターメカニズム全体会議でスピーチを行い、ガイドラインの委員会通過を祝福するとともに、生産資源や、乳製品などの栄養価の高い食品への女性のアクセスを改善する必要性を強調しました。彼女はまた、女性農業従事者の食料安全保障の向上を中心としたガイドラインを支持するCFS51のパネルディスカッションにも参加しました。このパネルは、女性農業従事者のニーズに関する活発な議論の場を提供し、重要な国際フォーラムで女性のエンパワーメントに関するIDFのイニシアチブや活動を強調するためのものでした。

2026年の「女性農業従事者の国際年」に向けて進む中、また2030アジェンダと持続可能な開発目標、特にSDG5の達成に向けて努力する中で、私たちのプログラム、政策、イニシアチブがより包摂的で持続可能な食料システムのためにジェンダー平等をどのように推進できるかを注意深く検討しましょう。酪農乳業は引き続き、女性のエンパワーメント、起業、教育の達成、そして活気ある農村コミュニティの触媒となっています。

## 参考文献

1. FAO and IDF. 2019. Global Dairy Sector: Facts 2019. Dairy Declaration of Rotterdam. <http://www.dairydeclaration.org/Portals/153/Content/Documents/DDOR%20Global%20Dairy%20Facts%202019.pdf>
2. USAID. Gender and Food Security fact sheet. [https://pdf.usaid.gov/pdf\\_docs/pnadr706.pdf](https://pdf.usaid.gov/pdf_docs/pnadr706.pdf)
3. FAO. 2023. The status of women in agrifood systems. Rome. <https://doi.org/10.4060/cc5343en>
4. CFS. 2023. Voluntary Guidelines on Gender Equality and Women's and Girls' Empowerment in the Context of Food Security and Nutrition. [https://www.fao.org/fileadmin/templates/cfs/Docs2223/Gender/Guidelines\\_Final\\_Agreed\\_Version\\_June\\_2023\\_CLEAN/GEWGE\\_Guidelines\\_Final\\_Agreed\\_Version](https://www.fao.org/fileadmin/templates/cfs/Docs2223/Gender/Guidelines_Final_Agreed_Version_June_2023_CLEAN/GEWGE_Guidelines_Final_Agreed_Version)



チリ

# 行動する女性たち：テクノロジー、コラボレーション・・・そして友情！

## 寄稿者

ハーディ・アビレス（Hardy Avilés）および M・アレハンドラ・ビエドマ（M. Alejandra Viedma）酪農コンソーシアム（Consortio Lechero）、チリ

✉ [comunicaciones@consorciolechero.cl](mailto:comunicaciones@consorciolechero.cl)

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

知識を得ることで自らが力をつけ（エンパワーメント）、資源に公平にアクセスし、現代の技術を利用する彼女たち酪農家は、生産性と経済的安定性を向上させるだけでなく、コミュニティ内での意思決定やリーダーシップにおける地位も強化します。今日、彼女たちは Aproval、Aproleche Osorno、Fundación GTT などの酪農家の協会組織でリーダーシップの地位を占めています。このように、このイニシアチブは SDG5.5 と SDG5.a に貢献します。SDG5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。SDG5.a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。

## 全体像

チリでは、酪農場の 15%から 20%が女性の経営によると推定されています。女性は通常、世代交代の遅れ、仕事の選択、家族の義務のために、人生の後半にこれらの事業を引き継ぎます。

このグループの場合、ほとんどがプロフェッショナルな女性で、技術やビジネスのギャップを克服する必要性を認識し、共通の現実の下で団結することへの関心を高めた結果、今日では酪農生産者の協会でリーダーの役割を担うようになりました。通常、これらの役割は男性が担当しています。

「彼女たちは単なる技術グループ以上の、家族のような存在です。チリの女性酪農家は毎月集まり、技術を共有し、アドバイスを提供し、友情の絆を強化します。そのすべてを、活動の継続的な改善に重点を置きながら行います」

チリの女性酪農家のイニシアチブ、GTT Mujeres en Acción（訳すと、「行動する女性たちの技術移転グループ」）は、新しい技術へのアクセス、リーダーシップの機会、そして農業において女性が伝統的に直面する課題のギャップに対処しています。このイニシアチブは、女性が協力して、アイデアを交換し、互いに学び合うことができる包摂的なサポートネットワークのニーズに応えることで、コミュニティの意識を育み、目的を共有するものです。さらに、このイニシアチブは持続可能な農業慣行と動物福祉を促進し、より広範な環境問題に対処しながら、乳製品の品質と生産効率を向上させます。

## 前提

このイニシアチブの目的は、女性が技術を共有でき、酪農乳業の持続可能性、動物福祉、土壌管理、エネルギー効率などの重要なテーマについて議論に参加できるプラットフォームを創出することです。共通の関心を持つ女性たちの強固で持続的なネットワークを構築し、これらの重要な分野における協力と継続的な改善を促進することが核心的な目的です。

## 行動に移す

15 年前、20 人の女性酪農家が、国立農牧調査研究所（INIA）の支援と励ましを得て集まり、COLUN 協同組合の獣医師ソレダッド・エスピンドラ（Soledad Espindola）のもとで結束しました。

グループの毎月の会合は、年間を通じて構成された技術的議題に従っています。これらの会議は通常、メンバーの農場で行われ、農場管理の実践を見直し、経験を共有することを重視しています。会議は、グループ内の人間関係と友情の重要性を強調する個人的なキャッチアップから始まります。

それぞれの訪問時には、ホストは自分の酪農場で行われている技術的な作業について説明し、その後、各施設と、あれば新しく開発された取り組みについてのグループツアーを行います。ツアー後、ホストは他のメンバーから貴重なフィードバックを受け取ります。フィードバックは、各自の実践を改善するうえで高く評価されており、役立っています。

実際の農業生産は多様ですが、GTT Mujeres en Acción は持続可能な慣行のもとで高品質の生乳を生産し、



動物福祉を確保することに引き続き重点を置いています。

### 成功の歴史

成功の要因は、この女性グループの集合体としての強さと、高レベルの技術的議論の両方が達成されたことにあります。各会議は、技術訪問の準備をするホストとしての取り組みを楽しみ、感謝する機会であるだけでなく、定期的で組織的な活動に対する女性たちのコミットメントを強化する場でもあります。

グループ活動のおかげで家族経営の酪農場は大きく成長し、現在ではすべてのメンバーが生産データに基づいた財務管理と戦略的な計画立案に携わっています。女性たちはまた、公式な農場認証や、持続可能性および動物福祉に関する資格などの取得においても前進しています。さらに、彼女たちは農場でリサイクルと廃棄物管理を積極的に推進しています。

このグループは、技術的な解決策の探求を継続的に行う中で、さまざまな国の生産事例を調べてきました。グループの海外学習には、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、デンマーク、米国の酪農場への訪問が含まれており、2年ごとに海外視察旅行が計画されています。これは彼女たちが一貫して達成してきた目標です。

5年前、グループは独立し、新しいメンバーを迎えることで成長の新しい段階に入っており、影響力と専門知識をさらに拡大しています。

今日、このイニシアチブは、チリの活気あるセクターである酪農乳業産業において、コラボレーションとテクノロジーイノベーションの代表例の一つとして位置付けられています。

### 取り組みの価値

グループのメンバーであるアレハンドラ・クラゲス (Alejandra Klagges) は、「団結は力です」と言います。「これは、会議の規律、ダイナミクス、定期性を維持することで、グループの成長と展望を可能にしたグループです」グループに留まり続けている人々のコミットメントは筋金入りです、と彼女たちは強調しています。

会長のカリン・ウェーバー (Karin Weber) は、「物事のやり方、他人の間違いを学び、この意味で何事もガラス張りであることが重要です」と述べています。

「一人よりもグループでさらに進むことです。速く行くには一人で行き、遠くに行くには一緒に行くことです。だからこそ、Mujeres en Acción で私たちは仲間になり、明確な目的を持って協力できるのです」とグループのメンバーで

あるパウリナ・カラスコ (Paulina Carrasco) は言います。

### 新たな機会

酪農乳業で働く人々のトレーニングと教育への貢献は、常に課題であるとともに、好機でもあります。現在、彼女たちは若い女性を含めたより多くのメンバーに組織を上げ、まとめていく段階にあります。そのため、ソーシャルメディアを活用してグループの活動や酪農乳業セクターについての認知を高めています。

継続的なトレーニングは不可欠であり、同時に、熱意を維持し、グループの結束を強化することも重要です。メンバーは年に1~2回、新しく求められているテーマをレビューします。グループの強化、女性たちの取り組みの認知、リーダーシップの向上、ワークショップの創設、そして新たな生産シナリオへの準備は今後も重点課題です。

### 詳細情報

<https://codesser.cl/2022/11/15/gtt-mujeres-en-accion/>

GTT Mujeres en Acción. 2022 <https://agrocolum.cl/grupo-de-transferencia-tecnologica-mujeres-en-accion-1/>

Grupo de Transferencia Tecnológica "Mujeres en Acción" [Parte 1] 2018 [https://www.instagram.com/gtt\\_mujeresenaccion/](https://www.instagram.com/gtt_mujeresenaccion/)

# 中国 女性を機能性栄養食品でエンパワーメント：「女性の力」で乳製品を奨励

## 寄稿者

シーユアン・リュウ（Siyuan Liu）内蒙古蒙牛乳業有限公司（Inner Mongolia Mengniu Dairy Co. Ltd）、中国

✉ liusiyuan1@mengniu.cn

## プロジェクトはどのようにSDG5の達成を支援しているか

蒙牛は、技術、製品イノベーション、データ運用、業界運営、オープンイノベーションを統合した包括的なデジタル管理システムを構築しました。この統合は、会社の発展に新しい活力を吹き込みます。同時に、このモデルは消費者体験を最適化し、運用効率を向上させます。さらに、女性が自分自身の紹介や価値実現の機会を増やし、それによって社会的包摂と進歩を促進します。このイニシアチブは、このようにSDG5.bの達成を支援しています。**SDG5.b - 女性のエンパワーメント促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。**



© Mengniu Dairy

## 全体像

蒙牛は創業以来、女性委員会を設立し、女性従業員の法的権利と特別な利益の保護を経営の重点項目の一つとしています。蒙牛社は進化する企業環境において、女性従業員のニーズに対応するための新しい方法を常に模索しています。蒙牛は、中国の女性たちの栄養と健康のニーズに対し、身体の内側からの健康と外側の美しさのエンパワーメントに注力し、取り組んでいます。蒙牛社は、腸内微生物叢の調整、骨の健康改善、睡眠の向上、体重管理などの分野をターゲットとして、女性に特化した機能性栄養食品を20種近く開発し、発売しました。主力製品の中には、「常楽道プロバイオティクス固形飲料（腸内微生物叢の調整用）、デラックス低脂肪高カルシウム牛乳（骨の健康改善用）、FAFACAT GABA γ-アミノ酪酸グミ（睡眠促進用）、トウモロコシのひげと桑の葉のお茶（利尿および抗腫脹用）」が含まれます。これらの製品は、女性特有の健康につながる栄養を重視しており、女性の身体全体の成長とエンパワーメントを促進します。

## 前提

蒙牛は、女性向けの機能性栄養食品の開発に注力することで、女性の健康の権利を高め、人生のすべての段階を通して女性の健康ニーズに対応しています。デジタルチャネルを活用することで、蒙牛社は女性消費者に迅速にアプローチし、女性の健康に関する意識を高め、生活の質を向上させることを目指しています。

## 行動に移す

構想：蒙牛は、消費者の健康を最優先にすることに全力を注ぎます。蒙牛社は、AI駆動のソリューションを活用して、家族の生活に健康を取り入れることを目指します。中国における栄養士の利用しにくさと家庭に対する健康サービスの高コストという課題に取り組むことで、蒙牛はより多くの消費者が高品質の栄養および健康サービスの恩恵を受けられるよう努めます。

開発のプロセスと効果：蒙牛は、栄養と健康の分野で世界初のモデルであるMENGNIU.GPTを共同で立ち上げるため、複数のテクノロジー企業と提携しました。AIのサポートにより、高品質でパーソナ

ライズされた栄養健康サービスが各家庭に提供され、健康体験を高めます。

活用：「WOW Health+」プラットフォームは、栄養健康サービスのためのAI駆動の統合プラットフォームとして、MENGNIU.GPTの重要なアプリケーションの役割を果たしています。このプラットフォームは、健康評価、栄養計画の作成、各自に合わせた栄養アドバイスを含みさまざまなサービスを消費者に提供することで、消費者の健康管理の利便性を格段に増しています。

酪農乳業との相互関係：MENGNIU.GPTは、酪農乳業の業界で知的変革の新しいフロンティアとして、女性消費者の個別化された科学的に裏付けられた栄養健康ニーズに応えることで、消費体験を最適化することができます。





### 成功の歴史

蒙牛は、腸内微生物叢の調整、骨の健康改善、睡眠の向上、体重管理などの分野をターゲットとして、女性に特化した機能性栄養食品を 20 種近く開発し、発売しました。

蒙牛の最高データ責任者（CDO）である女性の李氏は、清華智譜 AI などの主要なテクノロジー企業と提携し、技術と栄養健康の交わる場所で、蒙牛栄養健康 Q & A テキスト生成アルゴリズム（MENGNIU.GPT）の開発に成功しました。このモデルは、2024 年 6 月に深層合成サービスアルゴリズム（第 6 群）として、国家インターネット情報公室に登録されました。中国で栄養および健康分野の消費者向けアプリケーションとして初めて承認されました。

デジタルプラットフォームのアプリケーションは、女性の機能性栄養食品によるエンパワーメントを進展させました。

これらのプラットフォームでは、女性に正確な栄養相談を提供する中で、女性消費者のニーズに応えるより機能的な製品の開発も蒙牛に促します。

「すべての女性労働者を愛を込めて敬い、行動を通じて女性の権利を擁護し、女性に力を与え、女性の強さを無限の明るさで輝かせます！」

このアプローチは、個別化され科学的な根拠に基づく栄養健康サービスに対する女性の需要を納得がいくまで満たします。

### 取り組みの価値

蒙牛の女性のエンパワーメントイニシアチブは、従業員の幸福と企業の競争力を高め、同時にジェンダー平等を促進します。限定された特典やキャリアの機会を提供することで、蒙牛はサポートのある職場環境を創出しています。蒙牛社は女性のリーダーシップ開発を重視し、女性消費者にサービスを提供するために革新

的なテクノロジーを用いています。蒙牛は、女子サッカーも支援しており、社会的責任を示しています。

### 新たな機会

蒙牛は、女性の健康ニーズに合わせ個別化された栄養ソリューションを提供することで、技術革新を通じた女性のエンパワーメントの拡大を計画しています。私たちは女性のリーダーシップ開発プログラムを拡張し、女性従業員を鼓舞する昇進の機会を提供します。女性に優しい職場環境を最適化し、社会的組織との協力を強化することで、私たちは女性の権利とジェンダー平等の促進を目指します。蒙牛は、ジェンダー平等の企業文化を推奨、実施し、女性により多くの機会を創出し、社会的包摂と進歩を育みます。

### 詳細情報

[https://www.mengniu.com.cn/news/group\\_news/detail/1752.html](https://www.mengniu.com.cn/news/group_news/detail/1752.html)

## エジプト

# アルバン・バラドナ（Alban Baladna）：女性酪農家のエンパワーメントを高め、エジプトの食料安全保障と農村部の生計を向上させる

## 寄稿者

イブラヒム・アル・サイード（Ibrahim EL SAYED）ダノン（Danone）、エジプト

✉ [ibrahim.elsayed@danone.com](mailto:ibrahim.elsayed@danone.com)

## プロジェクトはどのようにSDG5の達成を支援しているか

エジプトの女性は農業において重要な役割を果たしていますが、彼女たちの貢献はしばしば見過ごされ、その可能性は制限され、農業セクターに悪影響が及んでいます。このプロジェクトは、女性酪農家のエンパワーメントを通して、農業の業績を向上させ、農村コミュニティの振興を助けます。注目すべきは、エジプトの農村部では71%を超える女性が非公式な保護されていない仕事に従事していることです[1]。

このプロジェクトは全体として、SDG5の以下の目標を育みます。

- 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
- 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
- 5.a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。

「アルバン・バラドナイニシアチブーダノンエジプト、ダノン・エコシステム、CARE エジプトのコラボレーションは、エジプトにおける持続可能な食料システムの道を切り開いています。このプロジェクトは、集乳センターを設立し、酪農従事者、特に女性のエンパワーメントを通して、8,500人の酪農従事者の雇用を創出し、そのうち95%が女性で、2万7,000人を超える家族にポジティブな影響を与えました」

## 全体像

エジプトの国内乳生産は需要の65～72%しか満たしておらず、残りは粉乳の輸入で賄われています。小規模な酪農家は、食料安全保障にとって重要であり、総乳生産量の約85%を占めています。アルバン・バラドナイニシアチブ以前、生乳は、エジプト南部の農家が主に自給自足のため、あるいは副産物として生産し、非公式な商人を通じて低品質かつ恣意的な価格で販売されていました。そのため、彼らは安定した収入を確保できない脆弱な状況に置かれていました。

エジプトの小規模農家は、水不足、非効率的な灌漑、気温の上昇、土壌の塩分濃度上昇、侵食などの環境問題にも直面しています。他方で、トレーニング、資金、市場インフラなど、リソースへのアクセスにも苦労しています。

農業においては女性が社会的に取り残されていることが多く、それが彼女たちのエンパワーメントや農業セクターの業績に影響を与えています。

教育とサービスを通じて女性に力を与えること（エンパワーメント）は、暮らしの改善と持続可能な農業の育成のために不可欠です。

これに対応し、CAREエジプト、ダノン・エコシステム、ダノンエジプトは、社会、経済、環境のレベルでポジティブな影響を与えるため、アルバン・バラドナプロジェクトを共同で創設しました。

## 前提

- 1) 小規模な生乳生産者や酪農従事者（その大部分は女性）に力を与えること（エンパワーメント）により、意思決定能力を高めるとともに生計を改善し、それにより経済的な自立と成長を助長します。
- 2) 持続可能なサプライチェーンを構築することにより、現在の需要を満たすだけでなく、環境への影響を軽減し、酪農乳業産業の長期的な発展に貢献します。

### 行動に移す

アルバン・パラドナは、以下に対する包括的なサポートを提供します。

- ・ 酪農生産者・従事者に対するトレーニング
- ・ 予防接種キャンペーン
- ・ 獣医によるサービス
- ・ インフラ投資による集乳センターのサービス拠点化

アルバン・パラドナの第1段階では、エジプトの酪農乳業産業にとって不可欠な高品質の生乳を確保するための設備が導入されました。最初の10カ月の間に、各地域の集乳センターは1日当たりの生産量を200キログラムから5トンに増加させ、当初の目標である3トンを超えました。第2段階と第3段階は、生産量のさらなる増加と生乳の品質向上に焦点を当てました[7]。

プロジェクトの中心は女性のエンパワーメントです。女性たちは、教育とサービスへのアクセスを確保するため、コミュニティのリーダーとして採用され、トレーニングを受けました。このトレーニングは、生乳生産者がベストプラクティスを採用する助けとなり、その結果、生乳の生産量の増加と品質の向上、収益増をもたらしたほか、ケータリング活動の環境への影響を減少させました[8]。コミュニティリーダーは、集乳センター(MCC)と乳生産者との連絡役です。コミュニティリーダーは、農村部の生乳生産者が正式に生乳を販売し始めるよう考え方を改めさせ(以前はタブーと見なされていた)、新しい生産者に手を差し伸べ、そして生産者・酪農従事者へのサービスの提供(例: ワクチン接種キャンペーン)を調整するという重要な役割を果たしてきました。

### 成功の歴史

#### 社会的影響

24人の女性がコミュニティリーダーとなり、知識を共有し、新しい生乳生産者を募集しています。

#### 2022年時点のデータ

- ・ このプロジェクトでは、持続可能な収入源により、8,500人の生産者と酪農従事者のエンパワーメントが可能になりました。その95%は、生乳の受け取りと配達に携わっている女性です。
- ・ このプロジェクトは190の雇用を創出し、そのうち36の雇用は女性が占めています。
- ・ 2万7,000人以上の家族が、家計収入が増加したり確保されたりしたことからの恩恵を受けました。

#### 2024年以降のデータ

- ・ 推定すると、年間最大150万ユーロの収入増(2022年以降の物価上昇による調整後、調整前は330万ユーロ)が最大3,700人の活発なアルバン・パラドナの酪農生産者・従事者に提供されません。

### エジプトの小規模酪農セクターをバリューチェーン全体に取り組むことによって発展させる [2024年以降のデータ]

- 1) この取り組みにより、時間をかけて大きな品質向上を実現し(+8%のタンパク質、+6%の脂肪、-74%の拒否率)、代替の生乳供給源を上回ります。
- 2) ワクチン接種&AIキャンペーンにより、1万5,000頭の牛にワクチン接種を施し、年間5,555頭の人工授精を行います。
- 3) 獣医サービスとのリンクにより、6,000頭を上回る牛に獣医クリニックと移動式獣医サービスを通じたサービスを提供します。
- 4) 集乳センター(MCC)が25人の集乳員を雇用し、生産者へのアクセスを向上させます。
- 5) 24カ所の集乳ポイントと6カ所の集乳センターを建設・改修します。

このイニシアチブは、2022年のGEEIS-SDG [ジェンダー平等&多様性欧州国際標準-持続可能な開発目標]賞を受賞しました。

### プロジェクトの段階的發展



## 取り組みの価値

アルバン・バラドナは、持続可能な解決策で果たす女性の重要な役割を認識することにより、草の根の変化を推進しています。女性のエンパワーメントは、家族・コミュニティ・経済の成長、そして環境を育むことです。

「以前は、私の夫が唯一の働き手で稼ぎ手でした。私はただ牛を搾乳し、それを商人に渡していただけでした。今、私は生乳の販売を行い、財務を管理していません。私は主婦からビジネスウーマンに転身しました」—サブラ、酪農生産者、ハラブジャ MCC

このプロジェクトは、地域の酪農家、特に女性に焦点を当て、トレーニングと技術支援を提供することで、女性たちの可能性を引き出し、経済成長と環境の持続可能性に貢献しました。

このイニシアチブがコミュニティに変革をもたらす影響力とその再現可能なモデルは、女性のエンパワーメントを高め、地域資源に投資する力を浮き彫りにしています。それは、持続可能な開発にとって、コミュニティを中心とし、ジェンダーに配慮したアプローチが重要であることを示しています。

アプローチの独自性は、社会、環境、経済の課題を包含する体系的アプローチにもあります。

## 新たな機会

将来を見据えると、アルバン・バラドナは影響力を強め、長期的な持続可能性を確保する機会と向き合っています。

### 1—酪農家へのサービスを拡大する

- 遺伝子の改良。
- 獣医サービスの範囲の拡大。
- 地域の飼料生産の強化。
- 酪農生産者の向上のための資金プログラムへのアクセスの可能性。

### 2—MCC を引き続き改善する

- MCC は大規模なインフラ投資のための資金援助が必要。
- 品質を保つための生乳冷却装置。
- MCP での生乳分析／品質検査機器は、MCC で受け取った後に乳を拒否するコストを回避。
- 受入容量を増やすための貯蔵タンクの大規模化。
- エネルギー効率のための太陽光インフラ（スペースの制約次第）。

### 3—環境への影響

- 炭素強度の削減を推進するための取り組みを強化（生産性、群れ管理、ポータルフォリオ管理などにより）。

## 参考文献：

- [1] FAO [Online] <https://openknowledge.fao.org/server/api/core/bitstreams/7a31c4cf-4117-45fc-84fd-b51635c2a62a/content>
- [2] UNDP [Online] <https://www.undp.org/egypt/blog/small-scale-farming-key-future-food-how-can-we-make-it-more-inclusive-and-more-sustainable>
- [3] CIRAD [Online] [https://agritrop.cirad.fr/595246/1/2020\\_Vincent%20Martin%20et%20al\\_Foodsecurity\\_Diversification\\_Dairy\\_LSIPT\\_V1911a4.pdf](https://agritrop.cirad.fr/595246/1/2020_Vincent%20Martin%20et%20al_Foodsecurity_Diversification_Dairy_LSIPT_V1911a4.pdf)
- [4] Danone Ecosystem [Online] [https://eco-systeme.danone.com/wp-content/uploads/2022/11/2022-11\\_Arborus-Award\\_Press-Release\\_Alban-Baladna.pdf](https://eco-systeme.danone.com/wp-content/uploads/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf)
- [5] Calculation from Danone Ecosystem annual report, based on average of 4.2 members per family.
- [6] Egyptian Ministry of Agriculture [Online] [https://japmu.journals.ekb.eg/article\\_71014\\_7950d3a-2c6e34e724d6f9ed605d3556e.pdf](https://japmu.journals.ekb.eg/article_71014_7950d3a-2c6e34e724d6f9ed605d3556e.pdf)
- [7] Zawya [Online] [Media-coverage-English-danone-final-.pdf](https://www.zawya.com/eg/News/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf) (care.org.eg)
- [8] Danone Ecosystem [Online] [Alban Baladna - Danone Ecosystem](https://www.danone.com/egypt/press-releases/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf)

## 詳細情報：

- <https://care.org.eg/wp-content/uploads/2021/12/Media-coverage-English-danone-final-.pdf>
- <https://ecosysteme.danone.com/projectslists/alban-baladna/>
- [https://ecosysteme.danone.com/wp-content/uploads/2022/11/2022-11\\_Arborus-Award\\_Press-Release\\_Alban-Baladna.pdf](https://ecosysteme.danone.com/wp-content/uploads/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf)
- <https://africamutandi.com/danone-egypte-celebre-les-10-ans-du-projet-alban-baladna-a-beni-suef/>
- [Danone Egypt commits to doubling investment, targets 90% local sourcing by 2026 \(zawya.com\)](https://www.danone.com/egypt/press-releases/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf)
- [One Planet, One Health - B Lab Africa \(b-labfrica.net\)](https://www.oneplanet.net/en/one-health-b-lab-africa)
- [EN-2022-DP-Remise-Trophée-GEEIS-SDG-Arborus.pdf](https://www.danone.com/egypt/press-releases/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf)
- [https://ecosysteme.danone.com/wp-content/uploads/2022/11/2022-11\\_Arborus-Award\\_Press-Release\\_Alban-Baladna.pdf](https://ecosysteme.danone.com/wp-content/uploads/2022/11/2022-11_Arborus-Award_Press-Release_Alban-Baladna.pdf)



インド

# アジャープラ酪農協同組合を通じて女性の生計手段を多様化する

## 寄稿者

ガーヤトリー・パテル (Ms. Gayatri Patel) アジャープラ酪農協同組合 (Ajarpura Dairy Cooperative Society)、インド

patelgayuvansh@gmail.com

## プロジェクトはどのようにSDG5の達成を支援しているか

アジャープラ酪農協同組合の事例紹介は、酪農乳業セクターで働く女性のエンパワーメントを目的としたさまざまな取り組みを通じて、SDG5（ジェンダー平等）の達成を強く支援しています。このプログラムは、酪農乳業の諸活動、付加価値商品の創出、そしてキノコ栽培に関する総合的なトレーニングを提供することにより、女性の経済的エンパワーメントに直接貢献しています。このアプローチは、意思決定のすべての分野における女性の完全参加とリーダーシップの確保を強調するSDG5.5に沿っています。

女性主導の養蜂自助グループの設立と、ウエハース、ピクルス、マサラパウダーなどの商品を作るためのトレーニングの提供は、無報酬の育児・介護や家事労働の認識・評価を推奨するSDG5.4に対応しています。この取り組みは、新たな収入源を生み出すだけでなく、女性のスキルとリーダーシップの役割を向上させています。

さらに、すべて女性によって経営されている地域の小売店は、コミュニティ内での女性のリーダーシップと起業家精神を奨励することにより、SDG5.5の達成を促進しています。この店は、女性に自分たちの商品を出品し、経済的自立を得るための場を提供することにより、女性と女兒に対するあらゆる形の差別を終わらせるSDG5.1の達成を支援しています。

ターゲットを絞ったこれらの取り組みにより、アジャープラ酪農協同組合は女性の社会経済的地位を向上させるだけでなく、女性たちの存在感、市場アクセス、リーダーシップの機会を高めることによって、ジェンダー平等を推進し、SDG5のより広範な目標の達成に直接貢献しています。



©Ajarpura Dairy Cooperative Society

## 全体像

アジャープラ酪農協同組合のイニシアチブは、農村開発とジェンダーエンパワーメントに変革をもたらすモデルです。酪農経営が主要な生計手段であるコミュニティを拠点とするこの協同組合は、村内での広範なネットワークと信頼を活かし、さまざまな社会経済的課題に取り組んでいます。

**現状と背景：**このイニシアチブは、女性酪農家としての生計手段を改善することを目指し、女性たちのスキルを向上させ、多様な収入源を創出するところから始まりました。農村地域の女性は経済的機会やリーダーシップの役割への障壁（バリア）にしばしば直面することを認識し、アジャープラ酪農協同組合はこれらの課題に対処するためのさまざまなプログラムを導入しました。これらのプログラムには、酪農乳業のベストプラクティス、付加価値商品の創出、そしてキノコ栽培や養蜂などの非伝統的な酪農経営の活動に関するトレーニングが含まれています。

**全体の重要性：**このイニシアチブは、トレーニングとリソースを提供することにより、女性の社会経済的地位を大幅に向上させています。酪農経営と付加価値商品に関するトレーニングは、生産性と収入を向上させる一方、養蜂、またウエハースやピクルスのような商品の生産が新たな収入源を生み出します。女性が経営する小売店の開設は、女性たちに自分の商品のマーケティングと販売について直接管理する権限を与えることで、さらに女性に力を与えます。

**相互連携と影響の拡大：**これらの要素、例えばトレーニング、スキル開発、収入の多様化、リーダーシップの機会が相互に結び付くことにより、農村開発への包括的なアプローチが生まれます。このイニシアチブは、経済的ニーズに即時に対応するだけでなく、コミュニティにおける女性の役割を強化することにより、長期的な持続可能性を育むものでもあります。



## 「女性のエンパワーメント、暮らしを豊かにすること：アジャープラ酪農協同組合のジェンダー平等と経済成長への道」

ローレット・バットストーン (Laurette Batstone)

収入とリーダーシップの役割を増やすことで、伝統的なジェンダー規範に挑戦し、ジェンダー平等を促進します。これらの取り組みはより広く、SDG5（ジェンダー平等）およびSDG8（動きがいも経済成長）に貢献し、地域のイニシアチブがどのようにグローバルな開発目標を推進できるかを示しています。このモデルの成功は、他のコミュニティや組織がジェンダー平等と経済的エンパワーメントを開発戦略に組み込む際に貴重な教訓を提供します。

### 前提

アジャープラ酪農協同組合は、酪農経営、付加価値商品、キノコ栽培や養蜂などの多様な活動に関するトレーニングを提供することで、農村女性のエンパワーメントを目指しています。このイニシアチブは収入を向上させ、リーダーシップを育成し、ジェンダー平等を促進します。これは、女性が経営する小売店によって支えられており、そこでは彼女たちの商品が出品されています。

### 行動に移す

アジャープラ酪農協同組合のイニシアチブは2020年に始まり、農村女性の生計手段の強化を目的として体系的なアプローチにより実施されました。

実施された取り組みは次のとおりです。

- 1. ニーズの評価と計画の作成（初期段階）**：このイニシアチブは、コミュニティのニーズと女性酪農家の既存のスキルに関する包括的な評価から始まりました。これには、トレーニングと開発のためのギャップと機会を特定するため、地域のステークホルダーと関わるが含まれていました。
- 2. トレーニングとスキル開発（継続中）**：このイニシアチブの核心は、おもに乳牛の生産性向上を含む、酪農経営のベストプラクティスに関するトレーニングセッションを企画・準備することでした。また、酪農廃棄物を原料にした付加価値商品の生産、キノコ栽培や養蜂などの非伝統的な活動など、新たなトレーニングも追加されました。
- 3. 自助グループと小売店の創設（中間段階）**：女性の養蜂自助グループが創設され、専門的なトレーニングとサポートを提供しました。同時に、アジャープラ村内に地域の女性たちが経営する小売店が開設され、女性酪農家がつった商品を仕入れ、販売しました。

**4. 製品開発とマーケティング（継続中）**：女性たちは、ウエハース、ピクルス、マサラパウダーのようなさまざまな商品を作る訓練を受けました。商品は、認知と潜在顧客を得るため全国の展示会に出品されました。

**5. モニタリングと評価（継続的）**：このイニシアチブでは、モニタリングと評価を継続して行い、効果を評価し、課題に取り組み、持続的な改善を確保していきます。

全体として、このイニシアチブは、農村地域の女性に継続的な支援と機会を提供するために設計された、進化し続けるダイナミックなプログラムです。女性たちのニーズに合わせて調整された行動とタイムラインを通じて、長期的なエンパワーメントを促進します。

イニシアチブはまだ流動的であり、新しいトレーニングプログラムや製品開発の取り組みとともに進化し続けています。

### 成功の歴史

アジャープラ酪農協同組合のイニシアチブにより、約2万5,000人の女性が酪農乳業のベストプラクティスと付加価値商品の創出についてトレーニングを受けるという大きな成果がありました。養蜂自助グループの創設とキノコ栽培のトレーニングは、女性に新たな収入源をもたらしました。女性は、ウエハース、ピクルス、マサラパウダーなどの商品を作るスキルを身につけ、収入が増加しました。こうした女性たちによって作られた商品は展示会に出品され、女性が経営する地域の小売店で販売され、女性たちの経済的自立を促進しました。これらの取り組みは、女性のリーダーシップを強化し、コミュニティの関与を促進し、より広範な社会経済の発展に寄与しています。

### 取り組みの価値

アジャープラ酪農協同組合のイニシアチブの価値は、スキル開発や多様な収入創

出活動を通じて農村女性の生計手段を強化し、それによって女性たちのエンパワーメントを高める包括的なアプローチにあります。ここから学べるのは、酪農経営、付加価値商品、そして養蜂やキノコ栽培などの代替生計手段を統合することによって、女性の経済的自立とリーダーシップを大幅に向上させることができるということです。女性が経営する小売店の開設で明らかになったのは、ローカルビジネスは収入増につながり、コミュニティの関与を育むうえで効果的であるということです。このモデルは、多面的な支援と市場アクセスが、農村環境においてどのように持続可能な社会経済の発展とジェンダー平等を促進できるかを示しています。

### 新たな機会

私たちは、次のステップの一環として以下のような計画を考えています。

- 1. トレーニングプログラムの拡大：**イニシアチブのトレーニングプログラムをさらに拡大し、酪農経営、付加価値商品の創出、代替生計手段の活動に、より高度な技術を含めます。これには、有機農業や農業のためのデジタルツールのような新しい分野における新規コースの導入が含まれます。
- 2. 市場アクセスの強化：**女性酪農家が作った商品の市場アクセスを強化するための取り組みを行います。これには、オンラインプラットフォームを含む新しい販売チャネルを開拓すること、そして認知とリーチを拡げるため、より多くの国内および国際的な展示会に参加することが含まれます。
- 3. 養蜂とキノコ栽培の規模拡大：**イニシアチブの中で、養蜂とキノコ栽培の規模を拡大し、生産の増加と、コミュニティのより多くの女性にこれらの活動を広げることを目指します。これには、持続可能性と収益性を確保するための新たなトレーニングとサポートが含まれます。
- 4. コミュニティの関与とエンパワーメント：**ワークショップや啓発キャンペーンを通じてコミュニティをさらに関与させるための計画が進行中であり、女性のエンパワーメントの利点と、経済発展を推進する酪農協同組合の役割を促進します。



© Ajarapura Dairy Cooperative Society

近い将来に期待される機会の中には次のようなものがあります。

- 1. 協力と連携の拡大：**他の組織や事業者とのパートナーシップを形成し、新しいテクノロジーや慣行を導入し、トレーニングプログラムを強化し、追加の資金を確保する機会があります。
- 2. テクノロジーの統合：**デジタルプラットフォームを用いた製品マーケティング、精密農業ツール、データ分析などの先進技術の採用により、生産性と効率をさらに向上させることができます。

- 3. 新たな地域への拡大：**アジャープラ酪農協同組合の成功したモデルは、他の農村地域でも再現可能であり、より広範な影響をもたらし、イニシアチブによる恩恵を拡大することができます。
- 4. ジェンダー平等とリーダーシップの強化：**女性のリーダーシップとエンパワーメントに継続的に焦点を当てることにより、システムの変革を促進し、農業と農村開発におけるジェンダー平等の先例を作ることができます。

全体として、このイニシアチブは、トレーニング、市場へのアクセス、コミュニティ関与の強化を図りつつ、拡大と技術統合という新たな機会を探求し、成長に向けての態勢を整えています。

### 詳細情報

<https://youtube.com/@vanshgrecowdungproducts1476?si=v322Ft9nmVWZNUrj>

# 国際規格によるジェンダー平等の推進

投稿 セルジオ・ムヒカ (Sergio Mujica)、国際標準化機構 (ISO) 事務総長

## 1. ISO は標準化システムと国際規格の開発を通じて、ジェンダー平等にどのように取り組んでいますか？

ISO のジェンダー平等へのコミットメントは、グローバルな課題に対処し、イノベーションを促進し、人々の生活をより豊かに、安全に、そしてより良くする基準を開発するという私たちの使命にとって、絶対的な礎です。

ISO は実績のある多くの標準化団体とともに、2019 年に「ジェンダー対応規格および規格開発に関する国連欧州経済委員会 (UNECE) 宣言」に署名しました。私たちはこれにより、国際規格の開発においてジェンダーを主流化することへのコミットメントを誓い、ジェンダーアクションプランを策定・実施し、これらの分野での進捗を追跡することを約束しました。その目的は 2 つありました。よりジェンダーのバランスが取れた包摂的な規格開発プロセスを支援することと、基準自体のジェンダー対応力を強化することです。

ISO は持続可能な開発を推進する上でジェンダー平等が果たす重要な役割を理解し、2019 年の宣言署名直後に、野心的なジェンダーアクションプランを立ち上げました。この画期的なイニシアチブは、標準化における包摂性の涵養とジェンダー平等の推進に対する私たちの献身を示しています。このイニシアチブは、ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを行うための国連の持続可能な開発目標 (SDG5) とシームレスに一致しています。

ジェンダーアクションプランは単なる戦略ではなく、より公正な未来に向けた大胆な一歩です。私たちは、ジェンダー比率に関するデータを積極的に収集・分析し、技術的な仕事におけるジェンダーバランスの達成を目指し、私たちの基準がジェンダーに対応したものであるよう徹底し、ISO システム内での多様性と包摂を推進しています。さらに、ジェンダー平等を自身の業務に組み込む ISO 会員の能力構築に尽力し、変革を組織全体に推進しています。

## 2. ジェンダー平等に関して最近発行された ISO53800 は、なぜ世界の産業にとってそれほど重要なランドマークなのですか？

ISO53800:2024 は、組織がジェンダー平等を推進し、女性のエンパワーメントを図るうえで不可欠なリソースです。この国際規格は、特に職場における根深いジェンダー格差や偏見を克服するための重要な戦略を提供します。その目標は、すべての人に利益をもたらすジェンダー平等の環境を育み、人を中心とした持続可能な開発につなげることです。

この規格は、平等を組織文化の基礎となる仕組みそのものに織り込むことができるよう、組織のエンパワーメントを図る変革の枠組みです。一方のジェンダーに特化した役割という障害 (バリア) を取り除くために設計された、強固なアプローチ、革新的な方法論、実践的なツールを備えている、行動を起こすための青写真です。



COP28 - セルジオ・ムヒカ (Sergio Mujica) が #GreenDigitalAction through standards へのコミットメントを再確認

規模、地域、セクターを問わず、あらゆるタイプの多様な事業体に合わせてカスタマイズされており、職場に包摂性を組み込むことが普遍的な呼びかけとなっています。

ISO53800 を通じてジェンダー平等を受け入れることは、単なる道義的な義務にとどまらず、ビジネスにも役立ちます。組織がこの規格を導入することは、経済的・社会的進歩を促進するだけでなく、企業の社会的責任の核となる価値観とも整合しています。その結果、通常、従業員の定着率が全く変わり、採用の質は飛躍的に向上し、労働力は強靱性、生産性、イノベーションの力強い源となります。公平なリーダーシップがかじを取ることで、意思決定が多面的ですべての人にとって有益となるよう図られます。

## 3. ジェンダー平等の推進が具体的な基準によってどのように実現されてきたのか、例を挙げていただけますか？

ISO では、国際規格は不平等に取り組み、持続可能性を育み、包摂的な経済成長を推進する強力な手段であると認識しています。ISO が作成するそれぞれの規格は、より公正な世界や国連の SDGs 達成への足がかりとなります。

女性が所有・主導するビジネスのために世界の共通言語を作成する IWA34:2021 では、女性の起業家精神を擁護できることを、私たちは誇りに思っています。IWA34:2021 は、このテーマに関する明確さと一貫性を提供し、女性の経済的エンパワーメントを増幅し、産業界や社会全体に変革の波紋を引き起こす意義のある行動へと道を切り開いています。

ISO の SDG5 へのコミットメントは、この目標に直接適用できる多くの規格に現れています。その中には、事業体や組織全体で先入観を排除し、平等を促進することで社会的責任を全うすることを目的とした、先駆的な ISO 26000:2010 が含まれています。

ISO/UNDP PAS 53002:2024 「国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献するためのガイドライン」は、組織の戦略的ビ

ジョンと SDGs を調和させるための新しいガイダンスで、国連開発計画（UNDP）と共同で開発した先駆的なツールです。これは、ジェンダー平等の達成を含む、SDGs の 17 の目標すべてに対する包括的なアプローチで、その意味で世界初であり、とりわけ重要です。

私たちは、すべての基準が女性の洞察と経験で満たされ、価値、視点、妥当性が付加される未来を描いています。規格開発におけるジェンダー平等は、革新的で革命的な解決策につながります。私たちが作成する規格がユーザーの多様性を反映し、あらゆる場所のすべての人の共感を呼ぶようにすることです。

#### 4. ジェンダー平等と気候変動対策は強力にリンクしています。この2つの重要な分野がどのように交差し、ポジティブな変化を促進するかについて掘り下げていただけますか？

気候とジェンダーのテーマの絡み合いが明らかになってきました。これは、女性が世界の貧困層の大部分を占めているという厳しい現実を反映しています。農業のような生計手段は、多くの場合、天然資源—現在気候変動の脅威に常にさらされている資源—に大きく依存しています。

さらに、気象災害の影響は、しばしば女性や女兒に偏って影響を与えています。多くの文化では、女性たちが育児や介護、そして食料、水、エネルギーなどの生活必需品の確保の重責を担っています。こうしたライフラインが環境の激変によって分断されると、一瞬にして生活の基盤が崩れることがあります。UNDP のデータによると、信じられないことに、気候関連の災害によって女性が死亡する確率は男性の 14 倍で、気候危機のジェンダー的な側面を一気に思い知らされます。

それにもかかわらず、環境・気候政策を形成する最も大切な政治の舞台でも、女性の意見はいまだにほとんど存在していません。

国際規格を取り入れれば、政策を立案し、国際的な気候協定の実施を支援し、気候に関する資金調達イニシアチブを導く基盤を提供します。日常生活の多くの側面に規格が関わっています。ジェンダー意識と行動に関する規格を取り入れることで、考え方を換え、コミュニティを振興するグローバルな運動に貢献することができます。

最終的に、国際規格は女性や女兒に対する認識を、気候変動の受動的な犠牲者から気候行動の活動的なリーダーや推進者へと転換させるのに役立つでしょう。気候危機に対する解決策の探求には、すべての人々が協力する必要があります。包括的な規格開発を行うという ISO のコミットメントは、より公平で強靱な未来を実現する道筋を示しています。

#### 5. 農業セクターにおいてジェンダー平等と女性のエンパワメントを進めるための ISO のビジョンは何ですか？

農業セクターには、ジェンダー平等と女性のエンパワメントを進める深刻で差し迫った必要性があります。農業食料産業は、驚くべきことに全世界で働く女性の 36% を雇用しており、サハラ以南アフリカ（66%）や南アジア（71%）などの発展途上地域ではさらに高い数字を示しています。このように農業に関わる女性は非常に多いにもかかわらず、女性は重大な障壁（バリア）に直面しています。起業家や地主になる可能性は低く、意思決定の権限も限られ、平均収入は男性の 1 ドルに対しわずか 82 セントです。

私たちは、ISO の技術委員会に女性の代表を増やし、影響力を高めることで、こうした格差に正面から取り組んでいます。より多くの女性が参画することで、ISO の農業関連規格の質と妥当性を高めることができます。私たちは、農業システムや機構に内在するジェンダーバイアスに対抗する手助けもできます。

ISO では、私たちの取り組みを持続可能な開発のより広い目標に整合させることにも尽力しています。ISO と国際酪農連盟（IDF）との協力は、「乳および乳製品に関する ISO 技術小委員会（ISO/TC34/SC5）」を通じて、栄養改善、健康的な生活の支援、ジェンダー平等の推進に対する私たちの献身を示しており、これらはすべて SDG2、SDG3 および SDG5 の達成に不可欠です。

農業における女性の地位向上は、女性のエンパワメントだけでなく、女性の心身の健康、リソースへのアクセス、食料安全保障にもプラスの影響を与えます。それはジェンダーに基づく暴力を減少させ、より公平で利益が多く持続可能な農業セクターを育みます。ISO は、ジェンダーアクションプランと継続的なパートナーシップを通じて、農業セクターの内外におけるジェンダーギャップの解消と女性の役割の強化に向けて大きく前進し、より公正で豊かな社会づくりに貢献しています。



オーストラリア・ブリスベンで開催された 2023 年 ISO 年次会合のセルジオ・ムヒカ（Sergio Mujica）



ISO 53800

インド

# インドの女性酪農家のエンパワーメント

## 寄稿者

ミッチェル・ボウリング博士 (Dr. Mitchell Bowling)、ナヴィーン・ソニ博士 (Dr. Naveen Soni)、シブ・プラマニック (Shib Pramanik) アボットニュートリション (Abbott Nutrition)、米国

✉ [Mitchell.bowling@abbott.com](mailto:Mitchell.bowling@abbott.com)

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

このイニシアチブは SDG5.a の達成に貢献します。SDG5.a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。Ksheersagar プロジェクトは、インドの女性酪農家が各自の銀行口座を開設する手助けをし、生乳の配達に対して女性に直接支払いを行い、金融リテラシーのトレーニングを提供し、集乳センターの近くに小規模な地方銀行を開設して、金融商品や現金へのアクセスを提供することで、女性酪農家のエンパワーメントを図っています。



© Abbott Nutrition

## 全体像

インドには 3 億頭以上の牛が存在し、世界最大の乳牛の飼育頭数を誇ります。2023 年には約 2 億 3,000 万トンの液状乳を生産し、これは世界の生乳生産の 24.6% を占めています (USDA 2023)。さらに、インドには 6,700 万を超える酪農場があり (IFCN 2023)、酪農経営はインドの多くの小規模農家にとって雇用と家計収入の重要な手段となっています。多くの農家では、酪農場の運営に関連する仕事 (搾乳、餌やり、水の供給、清掃、販売乳の配達) は女性が行っています。このプロジェクトでは、インドの酪農場における能力開発の取り組みにおいて女性に焦点を当て、酪農場の主要な運営担当者にベストプラクティスを教示するだけでなく、農場の内外双方において女性のエンパワーメントを目指した新たな機会も創出します。最良の農場管理、獣医によるケア、そして高品質な生乳生産の慣行に関する教育を受けることで、小規模農家の酪農場は利益を増やし、搾乳動物が健康になり、つねに最高品質の生乳生産ができるようになります。

## 前提

アボットが Ksheersagar プロジェクトを酪

農乳業における能力構築イニシアチブとして始めた目的は、高水準の生乳品質を実現すること、高品質の生乳購入可能性を増やすこと、女性に力を与えること (講義、農場でのトレーニング、資本へのアクセス、および直接支払いによる女性の仕事の認知を通してのエンパワーメント)、そして動物のケアに関連するベストプラクティスを実施することです。

## 行動に移す

Ksheersagar プロジェクトは 2022 年に、アボットとそのサプライヤー、および Technoserve との間で価値観を共有するプロジェクトとして立ち上げられ、マハーラーシュトラ州とアンドラ・プラデシュ州で 70 人を超える乳業普及員により 1 万 2,000 人の酪農家を教育することを目指しています。このイニシアチブは、教育と報奨金を通じて生産される生乳の品質を向上させることに重点を置いています。Ksheersagar プロジェクトは、ターゲットを絞ったトレーニングと、生乳の配達に対する支払いを女性に直接行うことにより、女性酪農家のエンパワーメントも行っています。このプロジェクトは 2025 年まで実施され、インドにおけるアボットの乳製品調達とサプライチェーンについて、概念実証から標準調

達モデルへの移行を行います。

## 成功の歴史

Ksheersagar プロジェクトでは、女性にとってポジティブな成果が実証されています。4,000 人以上の女性が自身の銀行口座を開設し、6,000 人以上の女性が毎日の生乳配達に対して直接支払いを受けています。また、42 カ所の小さな地方銀行が女性スタッフによって運営されており、農場外での雇用とコミュニティの資本へのアクセスの両方を提供しています。

さらに、500 人を超える女性の自己報告によると、酪農場および動物管理の慣行を実施してから、労働時間が 1 日あたり平均 4 時間短縮されたとのことでした。

## 取り組みの価値

Ksheersagar プロジェクトでは、乳製品調達サプライチェーンの行程の初期段階で提供される、ターゲットを絞った教育、トレーニング、奨励、および活動の効果が実証されています。動物の飼育とケア、女性のエンパワーメント、コミュニティ開発に焦点を当てることで、サプライチェーン全体を改善することができます。

Ksheersagar プロジェクトは、女性酪農家、動物、そしてコミュニティの生活を向上させる手助けをしてきました。大規模な実施は、一度にすべてではなく、着実かつ計画的に進捗させることで可能になりました。

#### 新たな機会

Ksheersagar プロジェクトは、インドにおけるアボットの乳製品開発の重要なプロジェクトとなるように改良し続けています。アボットは、現在のサプライヤーと新しいサプライヤーの両方と協力して、能力構築、トレーニング、農場管理の慣行などの行動原則を実施しています。家畜の飼育、酪農場の管理、生乳の調達におけるベストプラクティスの実施を継続することに加えて、高品質の生乳を供給する酪農家のコミュニティをさらに支援できる方法についても評価しているところです。

「アボットと私たちのサプライパートナーは、インドの約1万2,000戸の酪農場で女性酪農家のエンパワーメントを高め、酪農家の能力構築に取り組んでいます」



インド

# 有機酪農協同組合のシュンドルボンモデルによる女性酪農家のエンパワーメント

## 寄稿者

サビヤサチ・ロイ博士 (Dr. Sabyasachi Roy) 全国酪農開発委員会 (National Dairy Development Board : NDDB)、インド

anand@nddb.coop

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

シュンドルボン生乳・家畜生産者協同組合連合有限会社 (Sundarban Cooperative Milk & Livestock Producers' Union Limited) は、インドのシュンドルボン河口デルタ地帯の中州で、女性酪農家によって所有され、運営されている初の有機酪農協同組合です。同協同組合はこの地域の厳しい諸条件にもかかわらず、これらの困難を機会として受け入れ、脆弱な生態系の維持、女性とその家族への意義のある仕事の提供、そして同地域の持続可能な食料システムの発展のため、有機栽培・飼育の運動を開始しました。

同協同組合は、社会から取り残されている女性酪農家を組織することによって、彼女たちのエンパワーメントを図り、ジェンダー平等、貧困、飢餓、健康、教育、低廉なエネルギー、不平等、責任ある消費、気候変動対策、そして陸上での生活といった問題への取り組みを推進しています。これらすべては、国連の持続可能な開発目標の達成に寄与します。

## 全体像

シュンドルボン生乳・家畜生産者協同組合連合有限会社は、インドの脆弱なシュンドルボンにおける女性だけの先駆的な有機酪農協同組合です (シュンドルボン是世界最大のマングローブ林として知られており、ユネスコの世界遺産に登録されています)。

シュンドルボン生乳・家畜生産者協同組合連合有限会社のようなイニシアチブは、持続可能な開発を促進し、社会的に取り残されているコミュニティのエンパワーメントを行うもので、インドにおいては不可欠な存在です。これらのイニシアチブは、女性



主導の有機酪農協同組合を支援することにより、ジェンダー不平等、貧困、食料不安など多くの課題に取り組んでいます。協同組合は、女性酪農家に経済的機会を提供し、彼女たちの生計手段と意思決定力を高めています。

## 前提

シュンドルボン有機酪農協同組合はインドの厳しいシュンドルボン河口デルタ地帯で、女性が所有・主導して運営されている、最初の有機多品目生産者組織です。その使命は、持続可能な開発のために有機農業を主流化しながら、女性生産者の組合員、従業員、サプライチェーンの関係者、消費者の間で繁栄と幸福を確実にすることです。

## 行動に移す

デルタ地帯に取り残された小さな酪農場の家族を支援するため、州政府はインドの全

国酪農開発委員会 (NDDB) から技術的支援を受け、2015年11月1日にすべて女性によって運営される酪農生産者のための協同組合の活動を開始しました。

中心となる行動には、女性主導のガバナンスと運営に焦点を当てた協同組合の再構築、有機農業の実践の促進、そして多品目生産への多様化が含まれていました。主要な女性酪農家の組合員が有機農業、酪農経営、リーダーシップのスキルを身に付けられるよう、視察を含む広範な能力開発が行われました。生乳の調達と流通を支援するため、ICT ベースのシステムやバリューチェーン全体のデジタル決済を含めたインフラが整備されました。



© National Dairy Development Board

コミュニティの関与と意識向上キャンペーンが立ち上げられ、女性酪農家の積極的な参加とコミットメントを確保し、それによって持続可能で包摂的な協同組合モデルを創出しました。

#### 成功の歴史

協同組合はこれまで8年にわたり、さまざまな村の女性酪農家を、役員やスタッフとともに、強力な有機協同組合を築くことに全力を注ぐまとまりのある集団に組織することに成功しました。主な成果は次のとおりです。

- ・ インドで女性が主導する初の有機多品目生産者協同組合を設立し、在来牛の生乳、野生のマングローブ林の蜂蜜、米、豆類などを調達し、シュンドルボンで4,500人以上の女性有機酪農家の生計を支援しています。協同組合は2023~24年に140万米ドルの収益を達成しました。
- ・ 生産者の組合員から購入するすべての商品の公正で透明な調達システムを確保し、各自の銀行口座へのデジタルの支払いを確実にしています。
- ・ 有機資材と普及活動のためのシステムを実装しています（飼料や作物の種、有機肥料、アゾラ、ミネラル混合、有機飼料、駆虫剤の供給、ワクチン接種・人工授精サービスの促進など）。
- ・ 地域社会で有機農業と民族獣医学（EVM/ethno- veterinary medicine）を推進し、モニタリングするため、女性のジャイボ（有機）モニターを育成しています。
- ・ 150カ所以上の家庭に牛糞を用いたバイオガスプラントを設置し、スラリーを作物の肥料として使用しています。
- ・ 2,000人を超える女性酪農家と従業員のトレーニングを行っています。
- ・ 有機乳、牛ギー（澄ましバター）、および蜂蜜を認証し、これらの提供はすべてガラス瓶により、「Sundarini Naturals」モバイルアプリを通じて販売され、コルカタでは自宅配達が行われています。
- ・ ミルクベースの伝統的な甘味やベンガルのミスティを販売するため、インドで初めてコルカタに専門店を開設した酪農協同組合です。
- ・ インド国内ではNDDBおよびインド商工会議所連盟（FICCI）の賞を受賞し、IFOAMアジアからはイノベーションと女性のエンパワーメントに関する国際的な認知を受けています。

「シュンドルボンで有機酪農協同組合運動をリードする女性たち：インドで持続可能な食料システムを推進する新しい革命」

### 取り組みの価値

シュンドルボン酪農協同組合は、女性が成功するために必要なツール、リソース、機会を提供することによって、女性のエンパワーメントとリーダーシップにおいて大きな進展を遂げました。女性は同協同組合内で重要な指導的地位を占め、意思決定と戦略的方向性を推進しています。経済的自立の強化は、女性たちの交渉力と経済的地位を高めています。

トレーニングと能力開発プログラムは、生産性を高め、持続可能な慣行を維持するためのスキルを女性に付与しています。これらのプログラムはまた、強固なコミュニティ意識と女性間の結束を育み、女性たちが互いに支え、導くことを奨励しています。

### 新たな機会

インドのシュンドルボン地帯の 75 村で女性主導の協同組合による有機酪農が成功したことを基に、同協同組合はデルタ地帯の中州全体で 250 を超える村々にその活動を拡大する計画です。この拡大計画の目的は、約 1 万 5,000 人の女性酪農家を巻き込むこと、そして有機農業を推進して、組合員の繁栄を確保し、デルタ地帯の環境の持続可能性を高めることです。同協同組合はまた、経済の安定性と財政の実行可能性を確保するため、規模の経済の構築にも注力しています。

酪農協同組合は以下の活動を開始しています。

- 酪農乳業と耕種農業のバイオダイナミック農法の実践の促進と調和。
- マイクロトレーニングセンターによる農家から農家への有機酪農研修の強化。
- 製品ポートフォリオの拡大（GI タグ付きのベンガルのラスグッタなど、長期保存が可能な缶入りオーガニックスイーツを含む）。
- 新設した製造ユニットによる有機肥料の製造・販売。



- 女性の人工授精技師に電動スクーターを提供することによる円滑な移動の促進と酪農家に対するサービス対象範囲の拡大。
- 移動集乳センターの設置によるバリューチェーンの持続可能性の向上。
- インド政府のスキームによる有機飼料および在来作物種子の生産・加工活動の開始。

### 詳細情報

<https://www.sundarini.organic>

<https://india.mongabay.com/2018/12/sundarbans-women-lead-the-way-in-making-dairy-farms-organic/>

<https://www.youtube.com/watch?v=Xh13ah1Jq80>

## イタリア

# ミルクと共に歩む、昨日、今日、明日の女性たち

## 寄稿者

イヴァナ・ガンドルフィ (Ivana Gandolfi) ラクタリス・イタリア (Lactalis Italy)、イタリア

✉ [ivana.gandolfi@it.lactalis.com](mailto:ivana.gandolfi@it.lactalis.com)

## プロジェクトはどのようにSDG5の達成を支援しているか

私たちのプロジェクトは、ジェンダー平等の促進と、すべての女性と女兒のエンパワメントに注力しており、SDG5の目標に整合しています。特に酪農乳業セクター内の管理職において女性が果たす重要な役割を認識し、支援することで、女性の貢献度と認知度の向上を目指します。このイニシアチブで印象的なのは、伝統と革新のバランスを取りながら、栄養、成長、健康を育む女性特有の能力です。このアプローチは、健康で持続可能な食生活における牛乳と乳製品の重要性を肯定するだけでなく、これらの成果を達成するために女性が果たす重要な役割についても強調し、SDG5のより広範な目標を推進しています。

## 全体像

イタリアでは、食と伝統のつながりが深く根付いており、酪農乳業が国の文化遺産で大きな役割を果たしています。伝統と革新の両立には、過去と未来の両方を見据えて行動する女性が不可欠です。生産、経済、環境、消費者の需要など、さまざまな要因が進展する中、酪農乳業セクターの複雑さを管理する女性特有の能力は、非常に貴重です。しかし、その重要な役割にもかかわらず、酪農乳業セクターで働く女性の割合は2012年から2017年まで28%で変わっていません（イタリア国家統計局 [ISTAT] のデータ）。このイニシアチブの目的は、女性の雇用を促進し、セクター内での役割を高めることにより、このギャップを解消することです。これにより、イノベーションを育むだけでなく、酪農乳業セクターの豊かな伝統と知識の保全と次世代への継承も確実に図られ、イタリア文化を特徴づける微妙なバランスが保たれます。

## 前提

このイニシアチブの目的は、イタリアの酪農乳業セクターにおける女性の役割を高め、その多様性と影響力を認識して、称賛することです。毎年ファクトシートを作成して女性と女兒のエンパワメントを図り、同セクターの成功に貢献していることを確認します。

## 行動に移す

2年前に始まり現在も継続しているこのプロジェクトは、イタリアの酪農乳業セクターに対する女性のかけがえのない貢献を称えるため、「ミルクと共に歩む、昨日、今日、明日の女性たち」というタイトルのファクトシートを毎年作成しています。ファクトシートは毎年、国際女性デー（3月8日）を起点にしています。Assolatte（イタリア酪農乳業協会）、FIL-Italian Committee（IDF イタリア国内委員会）、AitelItalian Association of Dairy Technicians（AitelItalian 酪農技術者協会）といったイタリアの酪農乳業関連の協会組織が承認したファクトシートは、メーリングリスト、協会のウェブサイト、ソーシャルメディアを通じて酪農乳業セクターの関係者に配布されています。科学的根拠に基づくこのイニシアチブは、イタリア国家統計局（ISTAT）のデータ、国連食糧農業機関（FAO）の報告書、そしてセレナ・ディ・ヌッチ（Serena Di Nucci）の「DONNE DEL LATTE（ミルクと共に歩む女性たち）」と題した論文など、各機関や学術研究などの資料を情報源としています。

## 成功の歴史

このイニシアチブは好意的なフィードバックを受けており、ファクトシートは多くの畜産農場、チーズ工場、加工施設で人目に付くように掲示されています。この取り組みにより、酪農乳業セクター内で生産、販売、マーケティング、コミュニケーションに携わる女性たちの貢献度とスキルが大幅に向上しました。

「女性が酪農乳業セクターで果たす重要な役割を積極的に伝え、強調することが極めて重要です。女性たちの貢献は、国連が設定した持続可能な開発目標に向けた進展を推進する有益な手段です」

このイニシアチブの主な成果には、酪農乳業セクターで働く女性たちの帰属意識を育むこと、またすべての経営者に女性の重要な役割を認識させることが含まれています。

## 取り組みの価値

このイニシアチブの強みはそのシンプルさにあります。ファクトシートは酪農乳業セクターのすべての経営者に効果的に届く簡単なツールです。イニシアチブのファクトシートは、さまざまな分野にわたり正確で関連性のある情報提供を進めるための貴重な情報源として役立ちます。このプロジェクトは、業界関連のテーマに取り組むだけでなく、女性の役割とそのエンパワメントに結びついた「人間の価値」についても強調しています。これにより、すべてのセクター参加者がこれらの重要な問題に関与し、業界内での女性の貢献とエンパワメントの重要性について理解を深めることができます。



新たな機会

イニシアチブは将来、次の2つの方向に発展する可能性があります。

- 1) 他のファクトシートとの統合：酪農乳業セクターにおける女性の戦略的役割を確認し促進するため、特定のプロジェクトが女性によって管理され達成された結果を強調し広める。
- 2) 女性の経験の普及：ウェビナーを企画し、女性が自分たちの経験を共有し深める。

詳細情報

https://www.unioncamere.gov.it/imprenditoria-femminile/tesi-di-laurea/donne-del-latte-indagine-sui-ruoli-e-le-esperienze-delle-donne-operanti-nel-comparto-lattiero-caseario-nazionale-s-di-nucci

https://www.istat.it/informazioni-sulla-rilevazione/indagine-annuale-e-mensile-sul-latte-e-sui-prodotti-lattiero-caseari-anno-2017/

Un omaggio di AITel, Assolatte e del Comitato italiano FIL/IDF alle "Donne del Latte" di ieri, oggi e domani

Dalla bella contadina alla donna professionista e imprenditrice l'immagine delle donne del settore lattiero-caseario racconta da sempre un legame forte con il proprio lavoro, quasi una vocazione innata.

Oggi Le vogliamo chiamare con affetto e riconoscenza "Le donne del latte", per sottolineare il valore della figura femminile nel settore lattiero-caseario, il suo grande impegno e la sua capacità di raccontare la bellezza delle produzioni e dei prodotti attraverso il proprio operato.

Tutti sappiamo che la donna, per le sue innate caratteristiche, è preziosa nel gestire le attività di una filiera legata all'evoluzione del tempo e della natura, dove è particolarmente importante la salvaguardia di usanze e tradizioni, da promuovere, valorizzare e trasmettere alle generazioni future.

Una di loro ha detto: "Ho scoperto il contrasto del candore del latte con il rosso luminoso del rame della cialdina". È una frase che non ha bisogno di commenti, ricorda a tutti che l'amore per il proprio mestiere è una chiave di felicità e che l'entusiasmo e il coraggio sono i motori di giornate intense, molte volte difficili ma straordinarie se vissute nella loro ricchezza.

Oggi sono sicuramente ancora troppo poche le donne impegnate nel settore lattiero-caseario, un comparto di grande rilevanza per l'economia agroalimentare italiana in continua ristrutturazione, evoluzione.

AITel, Assolatte e Comitato Italiano FIL/IDF ringraziano la donna del settore lattiero-caseario con la certezza che il loro ruolo sarà sempre più valorizzato ed il loro contributo sarà sempre più percepito come garanzia di professionalità, serietà, precisione e competenza per promuovere il latte e dei suoi derivati quali prodotti fondamentali di una dieta salutare e sostenibile.

Libreramente tratto da "DONNE DEL LATTE", Indagine sui ruoli e le esperienze delle donne operanti nel comparto lattiero caseario nazionale, tesi di laurea della Dott.ssa Serena Di Nucci, Corso di Laurea in Promozione e Gestione del Patrimonio Geotermico e Turistico, Università degli Studi di Scienze Geotermiche.

2023 年ファクトシート「ミルクと共に歩む、昨日、今日、明日の女性たち」

8 MARZO 2024  
UN OMAGGIO ALLE  
DONNE DEL LATTE DI IERI, OGGI, DOMANI

"Fotografate gli occhi e la memoria della mia infanzia... c'era il sapore buono del latte di mamma Mia... Oggi... incontro anche luoghi dove le donne resistono, inventano, innovano".

Questi versi ci parlano delle donne del latte: il raccontano che oggi le donne del settore lattiero caseario si muovono in un mondo dove tutti vogliono trovare le nostre radici e dove, allo stesso tempo, cercano risposte adeguate alle esigenze dei nostri giorni.

Donne che si muovono in un mondo in movimento, dove i cambiamenti passano ancora attraverso la figura femminile, la sua capacità di fare scelte di vita o la sua emancipazione.

AITel, Assolatte e il Comitato Italiano FIL/IDF celebrano tutte le donne del mondo del latte, con la certezza che il loro impegno sarà sempre più valorizzato nella consapevolezza che il loro contributo è fondamentale per il raggiungimento del goals della Nazionale Italia e per un mondo migliore per tutti.

\* Da Ulderico De Paoli, Femmine, Donne del latte "Con le mogli, ho passato o meno"

2024 年ファクトシート「ミルクと共に歩む、昨日、今日、明日の女性たち」

## ケニア

# ケニアの非公式な酪農乳業セクターでジェンダー平等を達成する

都市部の市場で女性の牛乳ベンダーが障壁（バリア）を克服し、機会を開く

## 寄稿者

ハンフリー・ジャンバ (Humphrey Jumba)、シルビア・アロンソ (Silvia Alonso)、アレクサンドラ・ガリエ (Alessandra Galiè)、エミリー・キロンジ (Emily Kilonzi)、ガリマ・シャルマ (Garima Sharma)、イマキュレート・オモンディ (Immaculate Omondi) 国際家畜研究所 (International Livestock Research Institute: ILRI)、ケニア・ナイロビ

✉ H.jumba@cgiar.org

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

ベンダービジネススクール (VBS) イニシアチブは、女性に対するあらゆる形態の差別を撤廃することを目指す持続可能な開発目標 (SDG) 5.1 に直接貢献しています。これは、牛乳販売ビジネスへの女性の意義ある参加を妨げている制限の多い規範など、制度上のジェンダー障壁に対処することによって実現されます。さらに、VBS イニシアチブは、経済的資源 (金融サービスへのアクセスを含む) に対する女性の同等の権利を確保することを目指す SDG5.a に貢献しています。VBS イニシアチブは、女性のベンダー (販売人) に起業家としてのスキルを身に付けさせ、女性たちが有利な条件で融資を受けられる金融機関につながることで、この目標を推進しています。VBS イニシアチブは、コーチングとメンターシップを通じて、意思決定やリーダーシップの役割を効果的に担うために必要なスキルと考え方を持つよう、女性の牛乳販売人に対してエンパワーメントを行っています。これにより、女性のリーダーシップと経済的意思決定への完全かつ効果的な参加を促進する SDG5.5 に貢献しています。

## 全体像

牛乳の販売は、ケニアの女性にとって魅力的な事業です。それは、牛乳や関連商品に対する需要が高く、スタートアップ資本と運営コストが比較的安く、そして女性が家庭における責任 (育児・介護の役割など) と並行して牛乳の販売活動を運営できる柔軟性があるからです (Galiè et al., 2022)。ケニアの都市部では、男性が公式の牛乳販売セクター (および非公式セクターの輸送部門) を支配している一方で、女性は大部



分が無許可の牛乳販売人として活動する非公式セクターに集中しています。

女性は、公式セクターに十分意味のある参加をしたり、牛乳販売ビジネスで競争力を維持したりする能力を制限する多くの制約に直面しています。主要な障壁 (バリア) として、女性の移動を制限する厳しいジェンダー規範、劣っている起業家的な考え方やビジネススキル、そして牛乳販売ビジネスを公式なものとして拡大するために必要な資本へのアクセスの欠如があります (CGIAR Initiative on Resilient Cities, 2024, Galiè et al., 2022, Myers et al., 2021)。こうした問題は、女性たちのビジネスの可能性を制限しています。例えば、女性の移動制限は、女性が生産者から直接生乳を調達することを困難にし、仲介者に頼らざるを得なくなります。この依存はコストを増加させ、牛乳供給の信頼性を低下させ、牛乳の品質を管理する能力を制限します。これらすべてが女性主導の牛乳販売ビジネスの持続可能性に悪影響を及ぼします。さらに、女性の牛乳販売人は、生乳調達時に有利な価格交渉をしたり、中間業者が配達した腐った生乳に対する補償請求をしたりするためのスキルや交渉力が不足していることが多く、通常は低い利益率に終わります (Galiè et al., 2022)。

ベンダービジネススクールは、ストリート

ベンダー (露店販売人) のビジネスおよび食品取り扱いのスキルを向上させることを目的としている CGIAR Resilient Cities Initiative (強靱な都市イニシアチブ) の変革をもたらすプロジェクトです。ケニアのこのプロジェクトは、新鮮な牛乳を販売する露店販売人、小規模および大規模な食品小売業者、ミルクバーなど、ケニアの非公式な牛乳市場チャネルで活動する女性の牛乳販売人を支援しています。このプロジェクトは国際家畜研究所 (ILRI) が主導しています。

## 前提

ベンダービジネススクール (VBS) プログラムは、都市部の牛乳販売活動における女性の参加と恩恵を持続的に増加させることを目指しています。女性の販売人は、増加した利益を活用してビジネスを拡大し、家庭生活を改善することが期待されています。さらに、牛乳販売人は、郊外および都市部で販売される牛乳が清潔で安全に消費できるように貢献することが期待されています。こうした2つの異なる目標に焦点を当てることで、このプロジェクトは、女性の牛乳販売人にとって、より健康的なコミュニティと、より利益が上がり持続可能なビジネスの両方を促進します。



## 「持続可能な牛乳販売事業を通じた女性のエンパワメントと経済的機会の拡大」

### 行動に移す

ケニアのナイロビという都市環境で牛乳の取引を行う商人が直面するジェンダー固有の制約については、公表文献が不足していることから、特定された知識のギャップに対処するため、小規模サンプルによる定性的研究が実施されました (Galiè et al., 2022)。この研究結果は、VBS イニシアチブのためのジェンダーに配慮した起業家およびメンターシッププログラムの開発に活用されました。

2022 年半ばに、ILRI はビジネス開発コンサルタントを雇い、ILRI 研究チームと協力して、ジェンダーに配慮したグループトレーニングおよび個別コーチングプログラムを、関連教材と併せ開発しました。このプログラムは、ベンダー（販売人）が都市の消費者に高品質の牛乳を提供できるよう、牛乳の取り扱い、衛生、そして安全という重要な側面をカバーしています。さらに、トレーニングにはビジネスマネジメントとマーケティングスキルが含まれており、販売人が販売額を増やし、社会に対する効果的なプロモーションを通じて市場での存在感を高めることができるようエンパワメントを図ります。トレーナーは、女性の販売人とその配偶者を既存の社会規範への挑戦が目的の議論に参加させることも期待されていました。

2023 年半ばまでに、メンターシッププログ

ラムと教材を通して、女性トレーナーが募集・採用されました。2024 年 1 月から 8 月まで、女性の牛乳販売人（メンター）が募集・採用され、トレーニングとメンターの指導を受けました。

### 成功の歴史

100 人近い女性の牛乳販売人が、消費者に安全かつ高品質な牛乳が確実に届けられるよう、適切な牛乳の取り扱いについて訓練を受けました。さらに、女性たちはビジネススキルに関するトレーニングとコーチングを受け、有利な価格交渉、クレジットへのアクセス、ビジネスの効果的な管理を支援するためのメンターシップを受けています。

### 取り組みの価値

ジェンダー分析を実施して、プロジェクト活動にその情報を反映させることは、極めて重要なことです。そうすることで、活動が特定のニーズに対応し、プロジェクトの目標に沿ったものになるからです。ジェンダー分析による洞察を適用することで、プロジェクトはすべての参加者のニーズに対しよりいっそう対応することができ、全体的な効果を高めることができます。こうしたアプローチによって、プロジェクトの設計と実施にジェンダー配慮の視点を組み込むことの重要性が明らかとなり、これにより成果は向上し、より包摂的な成果や効果が生まれます。

### 新たな機会

プログラムが女性のエンパワメントやその他の関連する成果に与える効果は、インパクト評価により測定されています。採用された女性の 1 グループに対してプログラムへの参加が提案され、もう 1 つのグループは比較グループとしてモニターのみが行われました。プログラムの最後に、比較グループの女性販売人にも同様の便益をもたらすことを目指し、トレーニング教材と 3 回のコーチングセッションを提供します。

将来的なフォローアップの取り組みとしては、ケニアの酪農乳業当局と協力して、女性と男性の両方を巻き込む形式に改良し、酪農乳業セクターにおける平等な機会の促進を目指しています。これは、牛乳の取引を行う商人が生産者から新鮮な生乳を調達する際に直面する困難や、生産者が市場で販売先を見つける際に直面する課題を考えると、特に重要です。今後、重要な焦点となる可能性のある分野としては、女性生産者と女性販売人の間の連携を構築すること、牛乳販売事業における女性の公平な参加に影響を与えるジェンダー規範を意図して取り組むこと、そして女性牛乳販売人の信用取引へのアクセスを促進するメカニズムの共同設計をすることがあります。

このプログラムで共有された経験から明らかなのは、畜産関連のイノベーションを通して女性のエンパワメントのためのイニシアチブの設計に、ジェンダー配慮の視点を組み込むことの重要性です。そこでは、研究開発のイノベーションに女性の参加を増やすアプローチを導入する利点が示されています。こうした経験は、農業開発の研究においてジェンダー対応策を改善する必要があることを強調しています。

### 詳細情報

CGIAR Initiative on Digital Innovation. (2024). Women in dairy shine on International Women's Day: Celebrating strength and resilience. Blog post. CGIAR. <https://www.cgiar.org/news-events/news/women-in-dairy-shine-on-international-womens-day-celebrating-strength-and-resilience/>

Emily Myers, Jessica Heckert, Alessandra Galiè, Nelly Njiru, & Silvia Alonso (2021) Staying afloat in the milk business: Borrowing and selling on credit among informal milk vendors in Nairobi. IFPRI Discussion Paper 2039. Washington, DC: International Food Policy Research Institute (IFPRI). <https://doi.org/10.2499/p15738coll2.134531>

Alessandra Galiè, Nelly Njiru, Jessica Heckert, Emily Myers & Silvia Alonso (2022) Gendered barriers and opportunities in Kenya's informal dairy sector: enhancing gender-equity in urban markets, Gender, Technology and Development, 26:2, 214-237. <https://doi.org/10.1080/09718524.2022.2084491>



ケニア

# Weezesha イニシアチブ：酪農経営を通じた女性と若者のエンパワーメント

## 寄稿者

スーザン・カマウ (Susan Kamau) ギトウングリ酪農家協同組合酪農普及担当者 (Dairy Extension Officer, Githunguri Dairy Farmers Co-operative Society)、ケニア共同寄稿者：リンダ・マクドナルド (Lynda McDonald)、Tetra Pak 社

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

Weezesha イニシアチブは、酪農経営における女性と若者の平等な機会を促進することによって、SDG5 (ジェンダー平等) を支援し、経済的なエンパワーメントと意思決定への参加をもたらします。それはまた、女性のリーダーシップへの完全かつ効果的な参加を確保することに焦点を当てた SDG5.5、および起業家精神とスキル開発を通じて若者の失業を減少させることを目指す SDG8.6 と一致しています。

## 全体像

多くの地域では、酪農経営は伝統的に男性が支配しており、女性や若者は所有権、意思決定、経済的利益において除外されています。Weezesha イニシアチブは、酪農経営において女性と若者のエンパワーメントを通して、この不均衡に取り組むため立ち上げられました。このイニシアチブは、現代の農業技術について女性と若者を教育し、積極的な参加を促すことで、長年の障壁 (バリア) を打破し、より包摂的な農業セクターを創出することを目指しています。このプロジェクトは、女性が家庭の意思決定に十分意味のある貢献をし、家庭内の責任を分担できるようにするための経済的エンパワーメントの重要性を強調しています。一方で、若者たちには酪農経営を経済的安定への実行可能な生き方として考えるよう奨励されており、不安定な雇用機会への依存を減らします。より公平で適切な情報に基づいたコミュニティを育むことで、Weezesha は農村地域での持続可能な開発を推進し、ジェンダー平等を促進し、次世代の農家を支援しています。

## 「女性のエンパワーメントをコミュニティの力に、若者のエンパワーメントを国を前進させる力に」

### 前提

Weezesha イニシアチブは、必要なスキルと知識を提供することによって、酪農経営を通じた女性と若者のエンパワーメントを目指しています。このプロジェクトは、ジェンダーに基づく偏見を排除し、経済的自立を向上させ、女性と若者が家庭やコミュニティの意思決定プロセスで意見を述べられるようにすることを目指しています。

### 行動に移す

Weezesha イニシアチブは、女性の「メリーゴーランド」グループに参加することから始まり、20分間のセッションで酪農経営について話し合うよう要請しました。ケニアでは、「メリーゴーランド」は主に女性が形成する非公式な貯蓄・信用グループです。これらのグループは「チャマ」としても知られ、共同で行う財政支援とコミュニティ協力の伝統に根ざしています。メンバーは、通常、週単位または月単位で定期的に一定の金額を寄付します。プールされた資金は、1人のメンバーに対して1回ずつ渡され、女性たちが小さなビジネスを始めたり、学校の費用を支払ったり、緊急の費用を賄ったりするなど、個人または家族のニーズに投資することができるようになります。

これらのグループは、特に農村部や都市部の女性の経済的エンパワーメントにとって不可欠です。正式な銀行サービスへのアクセスが制限される場合があるからです。資金は、必要なときに経済的な安定をもたらす社会的セーフティネットとしても役立てることができます。さらに、これらの集まりは女性の間にコミュニティ、信頼、相互

支援の意識を育み、社会的な絆を強化します。「メリーゴーランド」には、リーダーシップの役割の交代制、社交的な集まり、さらには土地や不動産を共同で購入するなどの大規模な事業への共同投資といった活動が加わることがよくあります。こうしたグループはケニアの非公式経済の重要な部分であり、女性が経済的自立を達成し、生活水準を向上させることを可能にしています。

最初の会合には19人の女性が参加し、その多くはすでに農業に関わっていましたが、スキルを向上させることに意欲的でした。週1回の定例会が始まり、子牛の飼育から始まり、さまざまな酪農経営のテーマに焦点が当てられました。このイニシアチブは、女性の参加に次いで、若者を含めるよう拡大され、継続的な学習とサポートを促進するための WhatsApp グループが形成されました。グループのメンバーは9人から17人に増え、衛生、記録管理、継続的な学習のためのインターネット利用に関するベストプラクティスが重点になりました。このプロジェクトは現在も継続しており、定期的なトレーニングセッションが開催されています。

### 成功の歴史

Weezesha イニシアチブにより、女性や若者による酪農経営の取り組みが大きく改善されました。生乳生産量の顕著な増加、衛生状態の向上による乳腺炎の発生件数の減少、そして生産コストの低下による財務結果の改善が見られています。記録管理の強化により、酪農家は牛の発情周期や出産などの重要な節目を追跡できるようになり、

より効率的な群れの管理につながっています。結果として、女性と若者の双方にとって経済的安定性が増し、コミュニティ内でより多くの情報と力（エンパワーメント）を得ることができるようになりました。このイニシアチブは、酪農経営と記録管理における重要な業績指標の達成にも貢献しています。

### 取り組みの価値

Weezesha イニシアチブは、包摂的な農業慣行に変革をもたらす力があることを実証しています。このプロジェクトでは、女性と若者のエンパワーメントを通して、酪農経営の生産性が向上しただけでなく、経済的自立と社会的公平性も育まれました。このイニシアチブは、適切なトレーニングとサポートがあれば、社会的に取り残されているグループが農業において重要な役割を果たし、より持続可能で豊かなコミュニティに導けることを示しています。他の地域でも同様にポジティブな成果を促進するには、農業経営におけるジェンダーと若者の包摂の重要性を認識し、このアプローチを再現することで、この経験から学ぶことができます。

### 新たな機会

今後、Weezesha イニシアチブは対象を拡大し、より多くの女性と若者をプログラムに加える計画です。今後のステップとしては、イニシアチブの進捗状況を追跡するためのデータ収集などがあります。

Weezesha は、女性と若者のエンパワーメントを継続することにより、地域経済に貢献し、より広い社会変革を促すことができる、熟練の自立した新世代の農業者を生み出すことを目指しています。



## ケニア

# ケニアで、女性のエンパワーメントを目指し、 生きた動物および牛乳のバリューチェーンにお けるジェンダーギャップを明らかにする

## 寄稿者

ネリー・ムカミ・ンジル (Nelly Mukami Njiru)、アレッサンドラ・ガリエ (Alessandra Galie)

国際家畜研究所 (International Livestock Research Institute: ILRI)、ケニア・ナイロビ

✉ [N.njiru@cgiar.org](mailto:N.njiru@cgiar.org)

## プロジェクトはどのようにSDG5の達成を支援しているか

今回の調査結果は、ジェンダー平等の実現と、すべての女性と女兒のエンパワーメントを目指す持続可能な開発目標 (SDG5) に非常によく合致しています。その理由は、調査結果の情報を、ターゲットを絞った変革をもたらす活動の策定に反映させ、生きた動物および牛乳のバリューチェーンにおけるジェンダー問題に対処できるからです。この2つのバリューチェーンは、特に女性がそれらに参加し、恩恵を得ることを妨げています。このようなバリューチェーンへの参加と恩恵を制限されている女性は様々な課題や障壁 (バリア) に直面していますが、変革をもたらす活動は、このような問題に取り組むことを目的としています。変革をもたらす活動によって、重要な資源や利益の所有・利用・管理におけるジェンダー不平等の是正が可能となります。女性の意思決定、行為主体性、およびリーダーシップの能力についても、SDG5のうち、SDG5.a (女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する) および SDG5.5 (政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する) に沿って強化される可能性があります。

## 全体像

生きた動物のバリューチェーンは、農業セクター、特に開発途上国の農村地域、および研究コミュニティにおいて重要な構成要素です。このバリューチェーンには、生きた動物だけでなく、牛乳のような商品を含む、動物に関連する製品の生産、加工、流通、消費が含まれます。生きた動物および牛乳のバリューチェーンの重要性にもかかわらず、バリューチェーンで役割を果たす女性と男性は両者とも多様な課題に直面しています。女性にとっては男性と比較して、バリューチェーンへの十分な参加と恩恵を得る可能性が妨げられている要因があります。例えば、女性は資源へのアクセスが制限され、安全上の懸念があり、家畜取引のような重要な経済活動から排除されるという問題に直面しています。現存するジェンダー格差や不平等に取り組めるような、ターゲットを絞った変革をもたらす活動を策定するうえで、生きた動物および牛乳のバリューチェーンのジェンダー関連の問題を認識することは重要です。ターゲットを絞った活動は、女性のエンパワーメントおよび家畜の生産性向上の可能性を高め、持続可能な開発に貢献します。

## 前提

この研究の目的は、ケニアの牧畜民の中で、生きた動物および牛乳のバリューチェーンにおけるジェンダー固有の課題を明らかにすることでした。そのため、これらのバリューチェーンにおける女性の参加に対する制約、リスク、ネガティブなジェンダー規範の影響を調査し、その結果から得られた情報を変革事業の策定に反映させることを意図しました。また、エンパワーメントのローカルな概念も調査の対象としました。

## 行動に移す

この研究では、柔軟性と体系化されていない特徴を持つ探索的設計が採用されたため、研究者は新たな洞察に基づいてアプローチを改良し、精緻にすることができました。こうした設計は、牧畜生活におけるジェンダー問題の複雑で動的な特質を捉えるうえで不可欠でした。定性データの収集方法としては、フォーカス・グループ・ディスカッション (FGD)、キー・インフォーマント・インタビュー (KII)、個人インタビュー (II) の3つが用いられました。FGDとIIは、女性と男性の牧畜農家の両方に焦点を当て、多様な視点が確保できました。一方、KIIは、コミュニティや宗教の指導者、獣医官、商人、アグロ vets の販売業者を対象とし、牧畜生活のジェンダー的側面について包括的な理解が得られました。データ収集はすべて2024年3月に行われました。

## 成功の歴史

この研究により、ワジル郡とガリッサ郡では家畜が重要な経済的・文化的資産であり、生計と社会構造を形作っていることが明らかになりました。男性が家畜取引において支配的である一方で、女性は生乳の生産と取引を通じて重要な貢献をしており、少数の女性が家禽生産に進出し始めています。しかし、女性は十分な参加と恩恵を得ることを妨げる深刻な課題と制限の多いジェンダー水準に直面しています。例えば、世帯主の男性は、家庭内でほとんどの決定責任を負っている権威ある存在です。そのため、男性は家畜を売ったり屠殺したりすることを期待される一方で、女性は家庭の雑用を行うことを義務付けられています。



## 「ケニアの牧畜コミュニティの女性たちは、 生きた動物および牛乳のバリューチェーンへの 参加や、そこから恩恵を受けることを制限 する大きな障壁（バリア）に直面していま す」

レイプや、FGM（女性器切除）のような慣行などのリスクも明らかになりました。研究結果は、女性の参加を促進するために、ターゲットを絞ったジェンダーに対応した活動の必要性を強調しています。

### 取り組みの価値

この研究は、ケニアのワジル郡とガリッサ郡の女性および男性の経済的、社会的、文化的な生活における家畜の中心的な役割を強調しています。研究は、女性について、資本へのアクセスの制限、および盗難や暴力による脆弱性の拡大など、ジェンダー特有の障壁や課題を特定しています。この研究の価値は、生きた動物および牛乳のバリューチェーンへの女性の参加に影響を与えるジェンダー固有の課題について、微妙なニュアンスで理解しているところにあります。この研究では、女性に対するセキュリティの強化、ジェンダートレーニング、集団の形成、市場アクセスの強化など、ターゲットを絞った介入の設計に情報を与えることができる、実行可能な推奨事項を提供しています。これにより、女性の経済的機会と市場参加を高めることができます。この研究の結果により、女性と男性の双方が生きた動物および牛乳のバリューチェーンに従事し、そこから恩恵を得るため、有益で実現可能な環境の整備を促進することもできます。

### 新たな機会

この研究では、牧畜コミュニティ内で、生きた動物および牛乳のバリューチェーンにおける女性のエンパワーメントのため、いくつかの新しい機会に光を当てています。例えば、女性の市場参加が、物流支援や女性を対象とした取引グループの創設を通じ強化されることで、女性たちが有利な価格交渉をし、中間業者への依存を減らすことができるようになります。女性のニーズに合わせたマイクロファイナンス商品の開発は、事業拡大や持続可能な慣行への投資に必要な資金を女性に提供することができます。ジェンダーに関する研修や啓発活動などターゲットを絞ったトレーニングは、女性のスキルを高める機会を提供し、経済および環境の課題に対する女性の強靭性を高めます。男女双方を対象としたジェンダー研修は、重要な反省と意識化につながり、女性が直面するジェンダーによる制限という問題に向き合うよう促すことができます。テクノロジーの統合は、女性に新たなエンパワーメントの機会を提供することができます。方針およびアドボカシー活動は、この研究を活用し、ターゲットを絞った方針およびアドボカシー戦略を策定することが可能です。

### 詳細情報

我々の結果は未だ出版されていないため、リンク先はありません。



ニュージーランド

# 障壁（バリア）を打ち破る

## 寄稿者

ローレット・バットストーン (Laurette Batstone) フォンテラ研究開発センター・マーケティング兼コミュニケーション担当シニアマネージャー  
(Senior Marketing and Communications Manager Fonterra Research and Development Centre : FRDC)、ニュージーランド

✉ [Laurette.batstone@fonterra.com](mailto:Laurette.batstone@fonterra.com)

### プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

フォンテラ研究開発センター (FRDC) は、特に酪農乳業セクターにおいて、STEM 分野のジェンダー多様性を促進し、女性のエンパワーメントを図る取り組みを通して、ジェンダー平等に焦点を当てた SDG5 に大きく貢献しています。その取り組みの証しとして、現在、FRDC のリーダーシップチームのメンバーの 64% は女性です。ジェンダーバランスの達成を目指す FRDC の取り組みは、インスピレーションを与えるモデルとしての役割を果たすだけでなく、職場やより広い業界においてジェンダー平等の理念を積極的に推し進めるものでもあります。

特に、SDG5.5 (政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する) および SDG5.b (女性のエンパワーメント促進のため、ICT をはじめとする実現技術の活用を強化する) と一致しています。

## 「ニュージーランドを皮切りに、世界中の STEM の女性たちがどのように酪農乳業セクターを形作ろうとしているか」

### 全体像

ニュージーランドの科学、技術、工学、および数学 (STEM) の専門職では、女性が STEM 就業者数のわずか 28% に過ぎないという大きなジェンダー格差があるにもかかわらず、フォンテラ研究開発センター (FRDC) は、46 カ国を超える国籍の職員の間でバランスの取れた 50 : 50 のジェンダー比を達成しています。

フォンテラの取り組みは、STEM 分野、特にニュージーランドの酪農乳業セクター内で、女性の比率が低い問題に対処するための重要な一歩です。フォンテラは、研究開発の全職員の 50% を女性が占めていることと、多様性への取り組みにより、STEM 分野における女性のリーダーシップと参加を積極的に推進しています。この取り組みは、ジェンダー平等を目指すだけでなく、多様な視点の価値も認識しています。フォンテラは、女性や女兒が STEM 専門職を追求するよう奨励することにより、酪農乳業の産業において新しい機会と道筋への扉を開いています。これは女性のエンパワーメントにとどまらず、イノベーションや問題解決力の強化にもつながります。多様性のあるチームは、複雑な課題に取り組む能力があることが分かっており、日々進化する乳製品市場において、これは極めて重要なことです。この取り組みは、単に数の問題ではなく、暮らしの改善に関わります。フォンテラは、STEM におけるジェンダーの障壁

(バリア) を打ち破ることにより、より包括的で公平な酪農乳業セクターを生み出します。女性と女兒に STEM 分野で役割を果たし成功するために必要なスキルと知識を提供し、酪農乳業の産業に関わるすべての人々が一層強く豊かな未来を得られるようにします。私たちは男女の給与格差について、モニタリングと自発的な報告を行っており、その結果、男女の差は約 1.5% と女性に有利な状況であることが判明しました。

### 前提

FRDC は STEM 分野、特に酪農乳業の業界内でジェンダー格差是正の取り組みを開始しました。これには、女性比率の低さなどの課題への対応、ステレオタイプや偏見との闘い、そして STEM 専門職において女性が歩む道筋の構築がありました。

### 行動に移す

フォンテラは、STEM 分野における女性のエンパワーメントを目的に、メンターシップ、専門能力開発、リーダーシップトレーニングのためのプログラムを開始しました。50 年以上前のフォンテラ大学院技術プログラム (FGTP) の創設以来、この支援環境は、女性に平等な機会を提供しています。こうした活動は、女性が STEM 分野で優れた役割を果たす道を切り開き、包摂性とイノベーションの雰囲気醸成しています。フォンテラ研究開発センターは 46 カ国を超える国籍の 350 人の職員を抱え、そのうち 50% が女性です。取り組みは、新しい課題や機会に対応するため、現在も進行中で、進化し続けています。

### 成功の歴史

FRDC の取り組みは、STEM 分野で役割を果たす女性の代表を大幅に増やす結果となりました。女性が 64% を占める FRDC リーダーシップチームのうち、2 人の女性メンバーが FGTP からスタートし、ゼネラルマネージャーまで昇りつめました。

FGTP のプログラムは、酪農科学技術の修士学位取得の機会を提供するもので、半世紀以上にわたり業界のリーダーを輩出してきました。女性は現在、研究、開発、イノベーションの各分野で重要な地位を占めています。この包摂性は新たな視点をもたらし、イノベーションを促進し、複雑な課題への対処をより効果的に行っています。

#### 取り組みの価値

フォンテラの取り組みは、STEM 分野におけるジェンダー多様性の価値を目に見える形で示しています。イノベーションの推進、顧客ニーズへの対応、酪農乳業の業界での競争力の維持において、多様なチームの利点をアピールし、他の組織の模範的役割を果たしています。平等な機会の重要性を強調し、より包摂的で前向きな考え方の、影響力のある協同組合を推進していきます。

#### 新たな機会

フォンテラは、STEM 分野における女性のエンパワーメント事業の持続と拡大に尽力します。フォンテラとその研究開発センターは、今後も STEM 分野における女性の成長を支援し、採用経路をさらに多様化し、新しい協力と連携を模索していきます。今後の機会としては、メンタープログラムの拡充や、STEM 分野におけるジェンダー多様化推進のためのグローバルイニシアチブへの参加などが挙げられます。

#### 詳細情報

[Fonterra's Diversity and Inclusion Initiatives More about the FGTP programme](#)



ソフィー・メルソップ (Sophie Mellsop)、FRDC 上級研究技術者 (Senior Research Engineer at FRDC)

#### 経歴と職歴：

「私の最大の課題のひとつは、キャリアの各決定ポイントでどの方向を選ぶかを決めることでした。決断不能がかなりありましたが、決定に『間違い』はなく、たださまざまな決定があるだけと受け入れることで、これに対処するのに役立ちました。優先事項は人生を通じて変わるものだという事も受け入れています。私はすべての人を喜ばせることはできず、自分にとって正しいことをするよう決めます」

#### FRDC での経験：

「FRDC の素晴らしい点は、良好なジェンダー多様性がある場所とそうでない場所を認識し、良いところを称えるためだけでなく、改善が必要などころも積極的な手段を講じることです。私はまた、新しい従業員を雇うときの無意識のバイアスを防ぐため、万全を期そうとするマネージャーも実際にたくさん見えました」



アンキタ・ジェイナ (Ankita Jena)、FRDC 計算生物学者 (Computational Biologist at FRDC)

#### 経歴と職歴：

「若い頃から、私は科学と医学を大切にしている環境に育ちました。学業の優秀さが常に求められる家庭で育ち、医者やエンジニアがいる中で、自然に私は科学の分野に惹かれました。夕食のテーブルでの会話が健康や生理学を中心に展開されることが多かったのは、私の両親の医学的バックグラウンドのおかげです」

#### FRDC での経験：

「フォンテラ研究開発センター (FRDC) で仕事することは素晴らしい経験です。業界の最も優れた頭脳に囲まれることは、刺激的でやる気を引き起こしてくれます。FRDC に移ってから、私は栄養と健康に関する最先端の研究プロジェクトに取り組むことができ、高度な計算ツールを活用して有意義な洞察を生み出しています」

**経歴と職歴：**

「中学校のとき、サイエンスフェアのため科学研究の課題があり、それが魅力的だと感じました。これが私の科学への興味を呼び起こし、刺激を受けて STEM のキャリアを追求するようになりました。私は学部の最終年を迎える前の夏に FRDC でインターンシップを行い、幸運にも修士プロジェクトでフォンテラの奨学金を受けることができました」

**FRDC での経験：**

「私はここで仕事を始めてからとても多くのことを学んでいます！私は異なる重点分野のいくつかのプロジェクトで働く機会があり、そのおかげで私の研究スキルが向上しました。さまざまなバックグラウンドや経験レベルを持つ人々と協力する機会も持てました」



レイチェル・テイラー (Rachel Taylor)、FRDC 研究技師アソシエイト (Associate Research Technologist at FRDC)

**経歴と職歴：**

「私は微生物学者としての訓練を受けており、ドレスデン工科大学（ドイツ）で生物学の学位を取得し、ハノーファー医科大学（ドイツ）で感染生物学の博士号を取得しました。私の専門はゲノミクスとメタゲノミクスで、これは細菌や微生物群集のゲノム配列を調べることを意味します」

**FRDC での経験：**

「FRDC では、微生物に関する理論的知識と、それらが群集でどのように『振る舞う』かを応用する機会を与えてくれます。また、プロバイオティクスと乳製品の研究、食品の安全の観点から、これまでに習得したすべての実践的なラボ（ハイスループット DNA シーケンシング）およびメタゲノミクス/バイオインフォマティクスのスキルも活用できます」



ハリナ・テゲトマイヤー (Halina Tegetmeyer)、FRDC 上級科学研究员 (Senior Research Scientist at FRDC)

米国

# 「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」とその実施を通して、女性のための機会を広げる

寄稿者

ベッキー・ラズダル (Becky Rasdall) 国際乳食品協会 (International Dairy Foods Association : IDFA)、米国

✉ [brasdall@idfa.org](mailto:brasdall@idfa.org)

## プロジェクトはどのように SDG5 の達成を支援しているか

2023 年、国際乳食品協会 (IDFA) の「酪農乳業における女性」ネットワークは、国連の持続可能な開発目標 SDG5 のジェンダー平等に合わせ、その中心的な内容を改訂しました。酪農乳業の業界内ではジェンダー平等の推進に大きな進展があったものの、IDFA はさらなる取り組みが必要であることを認識しました。改善する領域を特定し、既存の不平等に効果的に対処するためには、追加のデータが必要でした。2024 年 1 月に発表された「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」は、この知識のギャップを埋めるための論理的な次のステップで、その目的は、酪農乳業の業界で働く女性の不平等を特定すること、そして酪農乳業関連の企業に対して女性のためのより多くの機会を創出するよう提言することでした。この報告書は、女性がジェンダーゆえに不平等な扱いや機会の欠如に直面する可能性のある領域をデータに基づき明らかにすることで、米国の酪農乳業の業界全体でリーダーおよび人材チームが女性の直面するさまざまなギャップを認識し、それに対処するための取り組みをより効果的に始めるようにしています。

最終的に、これらの不平等な領域をターゲットにすることで、業界は職場に残っている女性に対する差別を排除し (SDG5.1)、あらゆるレベルの意思決定において女性の完全かつ効果的な参画および平等なリーダーシップの機会を確保する (SDG5.5) よう、成功裏に取り組むことができます。



© International Dairy Foods Association

DAIRY FORUM

## 全体像

米国の酪農乳業の業界では現在、代表となる女性が増え、女性は以前より多くの機会を得ています。管理職に昇格する女性が増え、給与が上がリ、女性の貢献に対する認識が高まっています。しかし、こうした進展にもかかわらず、女性は依然として障害に直面しており、私たちの業界はもっと努力する必要があります。

IDFA は初めてデータと研究・調査を集め、それによって企業が米国の酪農乳業業界で何が変化しているのか (何が変化していないのか) 分かるようにしました。この報告書は、この業界全体を通して女性に影響を与える態度、信念、行動、方針に関する重要な指標を捉え、それに取り組むための提言を行っています。IDFA はその後、これらの提言に従い、報告書で特定された不平等に取り組むことを目的とした重要なプログラムを実施することとしました。これには、IDFA 初の女性サミット開催を通し女性に焦点を当てたリーダーシップ開発、メンター

シップの機会の増加があり、何より IDFA 自身の家族休暇ポリシーの改定が含まれています。

IDFA は、プログラムの立案、ネットワークの形成、報告書の作成・公表を通して、米国の酪農乳業業界におけるジェンダー平等と女性のための機会創出を引き続き進めていきます。

## 前提

2024 年の「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」の目的は、女性の機会を制限する態度、信念、行動、方針に関してデータに基づく指標を開発し、洞察を得ることでした。最終的に、データにより、酪農乳業における女性の不平等が依然として存在するかどうか、そしてその不平等が常に経験されているかどうか特定されました。データは一連の提言に提供され、業界のリーダーがジェンダー不平等を減らすため、提言を実施できるようにしました。

## 行動に移す

報告書のデータは、2023年10月から11月にかけてオンライン調査により収集されました。調査に参加したのは、酪農乳業界で働く、さまざまな年齢・職務・経験レベルの層に属する548人の職業人（396人の女性と152人の男性）でした。この調査のサンプルは、加工業者、農業協同組合、農場、小売業者、供給業者などから集められたものです。

年齢層、経験年数、職務などの人口統計データが、酪農乳業の労働力のさまざまなセグメントを正確に代表するため収集されました。2024年1月に開催されたIDFAのDAIRY FORUMの会議で報告書の調査結果と提言が発表されました。会議では、業界の専門家パネルが新しいデータについて議論し、業界がジェンダー平等を促進するために取るべき措置についての見解を共有しました。この取り組みは継続中であり、IDFAは2024年の調査結果を発表し続けています（例：IDF、女性の食肉ネットワーク、個々の企業と共に）。また、IDFAはすでに2024年秋に実施される次回の調査に向けた作業を開始しています。

（詳細情報のリンク先で表・図を参照できます。）

## 成功の歴史

2024年の「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」で、IDFAはデータを用い、調査で示され認識された不平等に取り組むため、酪農乳業の業界に向けた6つの提言を作成しました。

- 1) 尊重と包摂の文化を育む
- 2) 体系化されたリーダーシップ開発プログラムを作成する
- 3) 年次報酬監査を実施し、格差に対処する
- 4) 適切で意味のある人材支援を図る
- 5) 家族休暇ポリシーを見直し、拡充する
- 6) 調査とベンチマークデータの収集を継続する

この報告書と提言は、酪農乳業で働く女性にとって次のような重要な成果を生み出しました。

- 酪農乳業の業界のリーダーの間で、これらの調査結果とジェンダー不平等についての会話が 증가
- 女性のメンターシッププログラムが急激に成長（例：IDFAのメンタリングサークルのプログラムは3倍に拡大）
- 米国の酪農乳業で初の全女性リーダーシップ開発サミットはチケットが完売して待機リストができ、参加者は「人生が変わった」との感想
- 複数の乳業会社が、家族休暇ポリシーの増加と女性支援に関する組織内の新たな議論を報告
- 将来の報告書作成の改善と拡大についての重要な議論

## 取り組みの価値

IDFAは、2024年の「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」とその実施から、ポジティブな影響を経験したり恩恵を受けたりした人々が少なくとも500人はいることを承知しています。



© International Dairy Foods Association

2024年3月開催のIDFA初の女性サミット



© International Dairy Foods Association

2024年3月開催のIDFA初の女性サミット

この報告書は、私たちのセクターが直面している現在の課題に関してデータに基づくベンチマークを効果的に提供したため、女性が直面している不平等について中立的で透明性のある客観的な会話を促進しました。女性が直面している課題についてそのように議論できたことで、業界のリーダーが慎重を要するこれらの問題をそれほど不安を感じずに検討する新しい方法が生まれました。

さらに、報告書とそのデータは、酪農乳業の業界においてジェンダー平等に関する将来のプログラムの立案、戦略、イニシアチブ、方針の開発の指針としても機能します。IDFAは、これらと同じ中立的でデータに基づく方法を用い、引き続き支援していくことを望んでいます。

#### 新たな機会

IDFAは、最初の「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」の洞察に基づき、引き続き元の調査を改善・拡大するとともに、2025年初頭に第2次「酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書」を発表する予定です。そのフォローアップの報告書は、調査サンプルの規模拡大と、酪農乳業セクター内のすべての役割を代表する回答者を含めることを目指します。

## 「IDFAの2024年『酪農乳業で働く女性の実態に関する報告書』は、酪農乳業セクターにおいて業界のジェンダー平等の取り組みを開始しました。来年の報告書で進捗状況が示されることを期待しています」

IDFAは、2024年に改善の必要性が特定された領域において酪農乳業の業界の進展を示すため、次の報告書を作成する計画を立てています。IDFAは、報告書で特定された女性に対するリーダーシップ開発、メンターシップの提供、およびその他の支援を引き続き強化していきます。2024年に確認された提言が顕著な変化をもたらすには、継続的な支援が必要となる可能性があることを、IDFAは認識しているからです。

#### 詳細情報

More information about the 2024 State of Women in Dairy report can be found here: <https://www.idfa.org/news/2024-state-of-women-in-dairy-report>

The stat graphics for the 2024 State of Women in Dairy Report can be downloaded here: <https://www.idfa.org/news/idfa-celebrates-womens-history-month-with-resources-and-programming-to-advance-gender-equality>.

## 安全で持続可能な酪農乳業で世界に栄養を供給する支援を行っています

IDF は、酪農乳業チェーンのすべてのステークホルダーのための科学的・技術的専門知識の優れた情報源です。1903 年以来、IDF は、安全で持続可能な乳製品でどのように世界の食料供給を支援するかについて、全世界の総意に到達するための仕組みを酪農乳業セクターに提供してきました。

IDF は、酪農乳業セクターのために科学に基づく規格開発を行う国際機関として認められており、世界の乳製品が安全で持続可能であることを確保するため、適正な政策、規格、実践、および規制の確実な実施において果たすべき重要な役割があります。



### 国際酪農連盟

70/B, Boulevard Auguste Reyers  
1030 Brussels - Belgium  
Tel: +32 2 325 67 40  
Email: info@fil-idf.org



@FIL\_IDF



International-dairy-federation



@international dairy federation



www.fil-idf.org

## 酪農乳業の専門機関 IDF の誕生 120 年を祝い、誇ります

国際酪農連盟 (IDF) は、1903 年 9 月にブリュッセルで開催された第 1 回世界酪農会議で設立されました。連盟の目的は、発足時から今日まで変わらず、消費者に栄養、健康および幸福を届けられるよう、良質な生乳と乳製品の開発・普及を支援する中で、科学的専門知識および学識の世界的な発信源になることにより、国際的に酪農乳業分野全体を代表することです。

IDF は 120 年の間、安全で持続可能、かつ公正な取引慣行を中心に据え、生乳および乳製品の専門知識を共有するため、酪農乳業セクターの規格開発に寄与し、主要なステークホルダーと緊密に協力してきました。

IDF の創設は 1 つのイノベーション活動だったと言えます。創設から 60 年後、FAO (国連食糧農業機関) と WHO (世界保健機関) は、IDF が取り組んでいた生乳と乳製品の規格化作業に基づいてコーデックス (食品の国際規格) をつくりました。

創設から 120 年後、IDF は現在も酪農乳業の科学、知識、イノベーションを発展させ、それらを出版、賞や表彰、IDF ワールドデーリーサミットのようなイベントを通して世界と共有しています。

IDF は酪農乳業と同義語になりました。IDF に酪農乳業の知識があるからだけではありません。IDF は酪農乳業そのものだからです。

